KENWOOD

Avino

マイクロハイファイ コンポーネント システム

SG-55MD
KF-5500MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、
ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-4904-00 01 (MA) (J) AP 0008

本機の特長

ATRAC3(アトラック)によるデジタル長時間録音/再生機能(LP2、LP4)を搭載

標準の2倍(約160分)または4倍(約320分)のデジタル長時間録音/再生ができます。(時間は80分ディスクを使用した場合)

CD→MD High(ハイ) Speed(スピード)(倍速)ダビング対応→ 47

CDからMDへカンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。(CD全曲録音のみ対応)

世界初、マルチファンクションキー(マルチキー)搭載

シンプルなデザインで使いやすい、新発想の操作キーを採用しました。表示部の下に配置された5つのキーで、CD、MD、チューナーのほとんどの機能をカンタンに操作できます。

スリムなデザインに3枚CDチェンジャー＋(プラス)MDを装備

コンパクトサイズのボディーに3枚CDチェンジャー＋(プラス)MDを実現させました。BGMとして長時間CDの音楽を楽しむことはもちろん、シングルCDの録音もカンタンにできます。

サンプリング・レート・コンバーター搭載

BS/CSチューナーなど、衛星放送のデジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

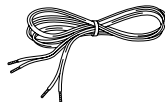
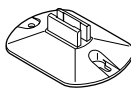
付属品

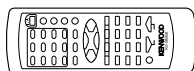
次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM 室内アンテナ(1本)

AM ループアンテナ(1個)

AMループアンテナスタンド(1 個)

スピーカーコード(2本)

リモートコントロール(リモコン)ユニット(1個)

リモコン用単3電池(2本)

スタンバイ・モード(状態)について

本機は電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源をオフにすると**standby(スタンバイ)/timer(タイマー)**インジケーターが点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これを"スタンバイ・モード(状態)"といいます。

- **standby(スタンバイ)/timer(タイマー)**インジケーターが点灯しているときは、リモコン操作によっても電源のオンができます。
- スタンバイ状態で**select(セレクト)/demo(デモ)**キー(リモコン**SET(セット)**キー)を押すと、表示部が5秒間時計表示になります。

目次

安 全 編

準 備 編

音を出す前に

基 礎 編

「聴く」、「録る」の基本です

応 用 編

楽しさが広がります

知 識 編

知っていると何かと便利です

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

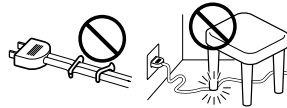
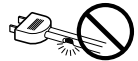
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

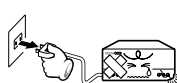
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

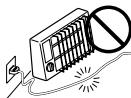
電池は放置しない

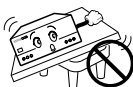
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

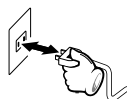
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

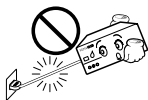
ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

音質、タイマー、表示部、その他の諸設定について（諸設定モード）

select/demoキーとvolume/multi controlつまみを組み合わせた操作で下記の機能を調節、調整することができます。

volume/multi controlつまみを回すたびに設定項目が以下のように変わります。（詳しくは参照ページをご覧ください。）

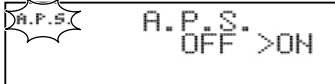
- **select/demo**キーを押してから5秒以上操作をしないで放置すると、諸設定モードは自動的に解除されます。
- **menu**キーを押してメニューモードになっている間は**select/demo**キーを押しても諸設定モードになりません。**input/home**キーを押してメニューモードを解除してください。
- **select/demo**キーを押して諸設定モードになっている間は**volume/multi control**つまみを回しても音量の調節ができません。音量の調節をするには**input/home**キーを押して諸設定モードを解除してください。

AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンのとき、録音も再生もしていない状態で、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。この機能はお好みで、設定、解除することができます。

❶ select/demoキーを押す

❷ volume/multi controlつまみを回して"A.P.S. ?"を選び、select/demoキーを押す

❸ 再度volume/multi controlつまみを回して"ON"（設定）または"OFF"（解除）を選び、select/demoキーを押して確定する

- この機能が設定されているときは、表示部左上に**"A.P.S."**が点灯します。
- ソース（音源）がチューナーまたはAUX/TAPEの場合、音量が**"0"**のとき、または**"MUTE"**が点灯しているときに限りオートパワーセーブが働きます。

デモンストレーションについて

本機の様々な動作状況を表示部に次々に表示する（デモンストレーション）機能です。デモンストレーション表示は、実際の操作と聴いている音には関係なく変化します。この機能はお好みで実行、解除することができます。

- 電源がオンのとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に**"DEMO ON"**になります。
- ソース（音源）がチューナーで**"DEMO ON"**のときは、受信する電波が弱いと音が出ません。

デモンストレーション解除（DEMO OFF）：

デモンストレーション実行中にselect/demoキーを押す

"DEMO OFF"がスクロール表示されます。

デモンストレーション実行（DEMO ON）：

電源がオンのときにselect/demoキーを2秒以上押す

"DEMO ON"がスクロール表示されます。

表示部の調節について

CONTRAST(コントラスト)の調節

本体表示部のコントラストを調節することができます。

❶ 電源がオンのとき、select(セレクト)/demo(デモ)キーを押す

❷ volume(ボリューム)/multi(マルチ) control(コントロール)つまみを回して"CONTRAST ?"を選び、select(セレクト)/demo(デモ)キーを押す

❸ 再度volume(ボリューム)/multi(マルチ) control(コントロール)つまみを回してお好みのコントラスト("0"～"15")を選び、select(セレクト)/demo(デモ)キーを押して確定する

● お買い上げ時のコントラストにワンタッチで戻すには、電源がオンのとき、**menu**(メニュー)キーを2秒以上押します。

BACK(バック) LIGHT(ライト)の調節

本体表示部の明るさを調節することができます。

❶ 電源がオンのとき、select(セレクト)/demo(デモ)キーを押す

❷ volume(ボリューム)/multi(マルチ) control(コントロール)つまみを回して"BACK LIGHT ?"を選び、select(セレクト)/demo(デモ)キーを押す

select/demo

❸ 再度volume(ボリューム)/multi(マルチ) control(コントロール)つまみを回してお好みの明るさ("HIGH"、"LOW")を選び、select(セレクト)/demo(デモ)キーを押して確定する

● SLEEP(スリープ)タイマー動作中は、BACK(バック) LIGHT(ライト)の調節をすることはできません。

システム(本体)と付属品の接続

⚠ 注意　接続のご注意

接続をするときは、図のように行なってください。アンテナ、スピーカなどの接続が終了してから、最後に電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について

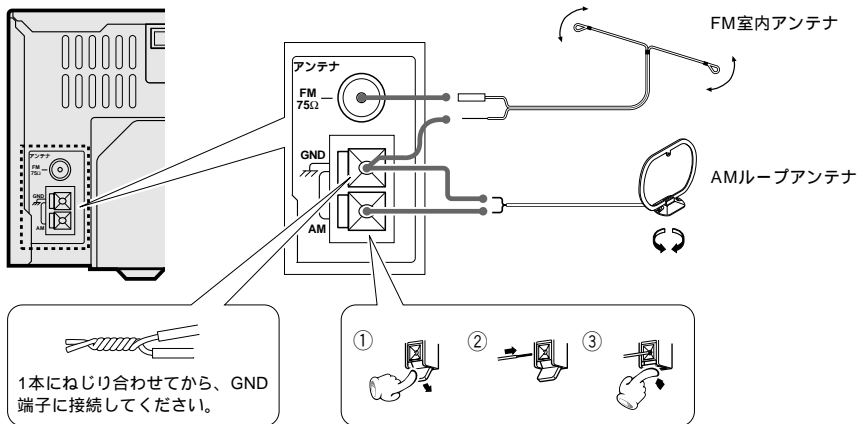
正しく接続したのに動作しなかったり、表示部が誤った表示をする場合は、"マイコンをリセットするには" を参照してマイコンをリセットしてください。 →85

⚠ 注意　設置のご注意

本機の天板の上に本などを置くことはできますが、本機底面には放熱用の空気取り入れ口があるため、じゅうたんなど柔らかい平面に本機を置くと空気取り入れ口がふさがれ、充分な放熱効果が得られません。かならず棚の上などかたい平面に置いてください。

スピーカーの設置とテレビについて

1. 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ(スタンバイ)のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

付属アンテナの接続

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本体、テレビ、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続するときは、室内アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する
❷ 受信状態のよい位置をさがす
❸ 固定する

スピーカー接続

本体部

① ② ③ ④

右側スピーカー

左側スピーカー

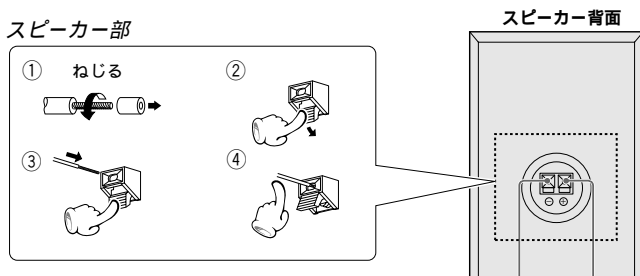
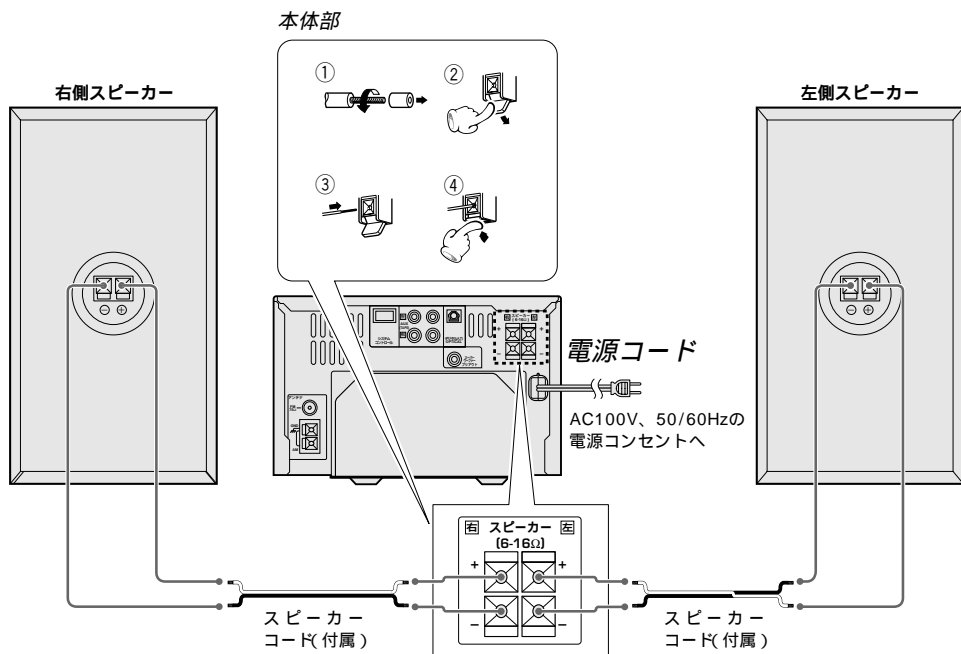
電源コード

AC100V、50/60Hzの
電源コンセントへ

右 スピーカー 左
(6-16Ω)

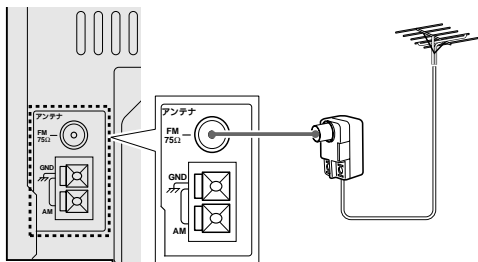
スピーカー
コード（付属）

スピーカー
コード（付属）

準備編

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
- スピーカーコードの＋と－(プラス マイナス)は絶対にショートさせないでください。
- 極性（＋と－）(プラス マイナス)を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

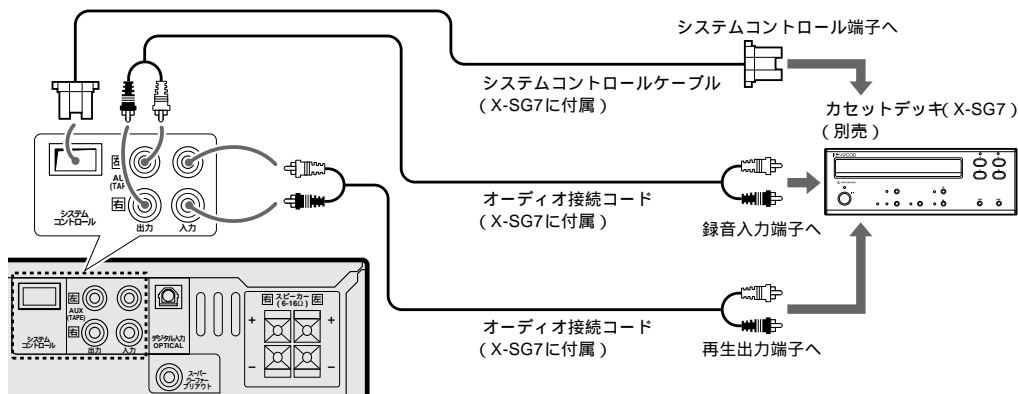
他の機器（別売品・市販品）との接続

FM屋外アンテナとの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。

⚠ 注意 *屋外アンテナ設置上のご注意*

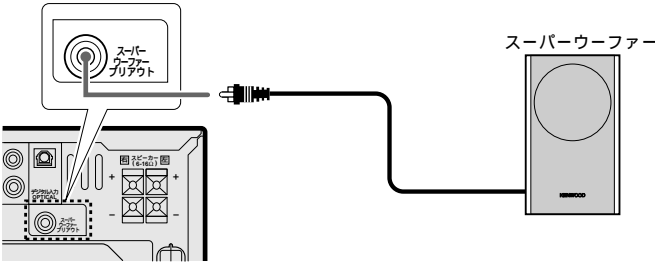
アンテナ工事には、技術と経験が必要なので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れて送配電線に触れた場合、感電の原因になることがあります。

カセットデッキ（X-SG7）（別売）との接続

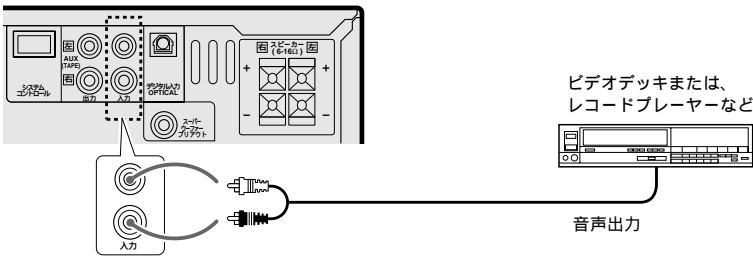
カセットデッキに付属のオーディオ接続コードとシステムコントロールケーブルを使って、本機背面のAUX (TAPE（テープ）) 出力、入力端子とシステムコントロール端子に接続します。カセットデッキに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

別売のカセットデッキ（X-SG7）を接続して、再生や早送りなどの基本機能やワンタッチ録音などを本機で操作することができます。→75

スーパーウーファー（SW-1010）（別売）との接続

重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。

準備編

外部ソース（音源）機器との接続

アナログ接続の場合

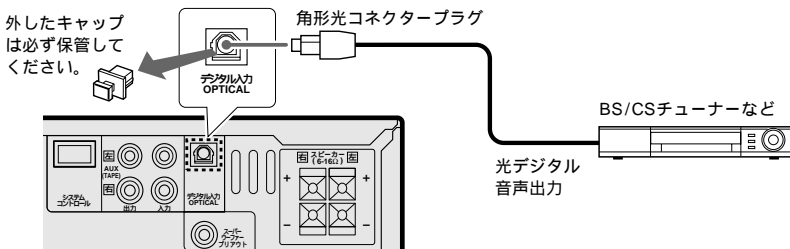
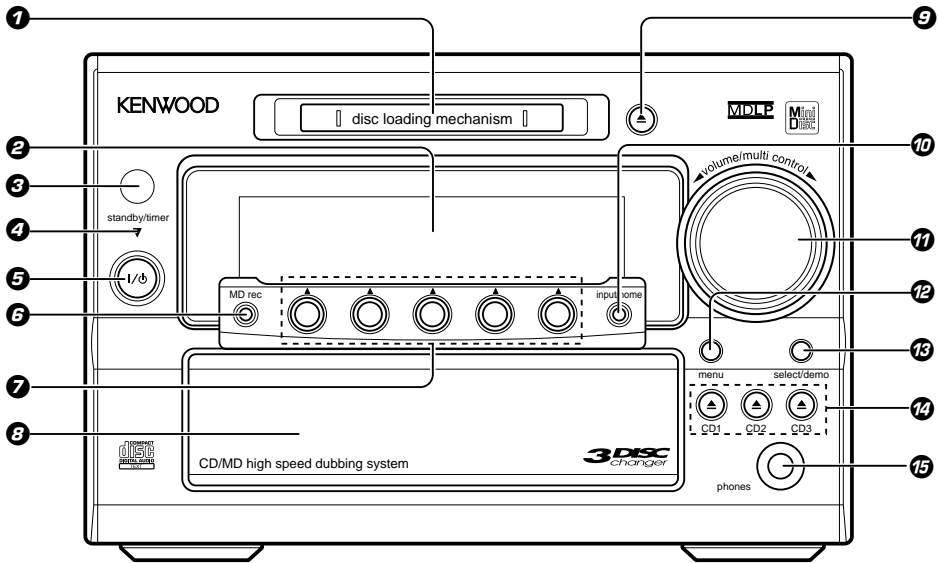
本機背面のAUX (TAPE)入力 端子を使って、ビデオデッキやRIAAイコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー（P-110）（別売）などを接続することができます。

デジタル接続の場合

本機背面のデジタル入力OPTICAL端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。

各部のなまえと働き

本体部

❶ ミニディスク挿入口

❷ 表示部

❸ リモコン受光部 →19

❹ standby/timer（スタンバイ/タイマー）インジケーター

スタンバイ状態（電源がオフ）：赤の点灯
タイマースタンバイ状態（電源がオフ）：緑の点灯
通電状態（電源がオン）：消灯

❺ I/⏻キー →22

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❻ MD rec（レコーディング）キー →35

MDに録音するときに使います。

❼ マルチキー →20

CD、MD、チューナーなどソース（音源）や設定によって機能が切り換わります。

❽ CDトレイ →24

ディスクを3枚まで収納することができます。

❾ ⏏キー

ミニディスクを取り出すときに使います。

❿ input/home（インプット/ホーム）キー

マルチキーをソース（音源）選択キーにするときに使います。→20
メニューモードや諸設定モード、録音モード、MD編集モードを解除するときに使います。→10 →47 →54

⓫ volume/multi control（ボリューム/マルチ コントロール）つまみ →10 →22

音量の調節や諸設定モード時の項目選択に使います。

⓬ menu（メニュー）キー →21 →38

各ソース（音源）の応用操作を行うときに使います。

⓭ select/demo（セレクト/デモ）キー

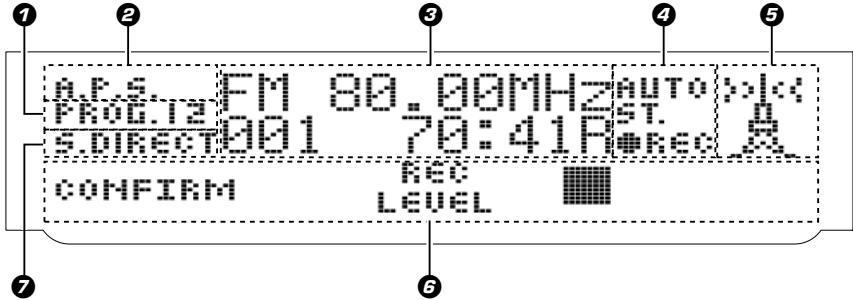
時刻合わせのときに使います。→76
スタンバイ状態で時計表示をするときに使います。→76
諸設定を行うときに使います。 →10
デモンストレーションの実行、解除に使います。→10

⓮ ⏏CD1－3キー →24

⓯ phones（ホンズ）端子 →22 →23

ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（別売）を接続します。

準備編

表示部

❶ タイマー表示

O.T.T. →77

O.T.T.タイマー設定、待機、動作中に表示します。

PROG.（プログラム） →79

PROG.タイマーの設定、待機、動作中に表示します。

❷ A.P.S.表示→10

オートパワーセーブ中に表示します。

❸ 周波数、時間、トラック番号、プログラム番号、ソース切り換え、音量、ディスク／トラックタイトルなどの文字情報を表示します。

❹ 再生、受信、録音モード表示

ソース（音源）がCDのとき

PGM（プログラム）→38

PGMモード中に表示します。

REP.（リピート）→41

REP.モード中に表示します。

RANDOM（ランダム）→44

RANDOMモード中に表示します。

O.T.E.→47

ワンタッチエディット録音中に表示します。

BEST HITS（ベスト ヒッツ）→51

BEST HITSプログラムモード再生中に表示します。

ソース（音源）がMDのとき

PGM（プログラム）→38

PGMモード中に表示します。

REP.（リピート）→41

REP.モード中に表示します。

RANDOM（ランダム）→44

RANDOMモード中に表示します。

ソース（音源）がチューナーのとき→31

AUTO

オート選局中に表示します。マニュアル選局／モノラル受信中は表示しません。

ST.

ステレオ受信中に表示します。マニュアル選局／モノラル受信中は表示しません。

チューナー、外部ソース機器の録音時→35

●REC

録音中に表示します。

IIREC

録音一時停止中に表示します。

❺ ソース（音源）表示

選択中のソース（音源）をグラフィカル（絵）表示します。

❻ マルチキー表示→20

マルチキーの働きを文字やシンボルで表示します。

❼ 音質表示

N.B.（ナチュラルバス）

N.B. の動作中に表示します。

S. DIRECT

ソースの音声信号をダイレクトにパワーアンプに出力しているときに表示します。

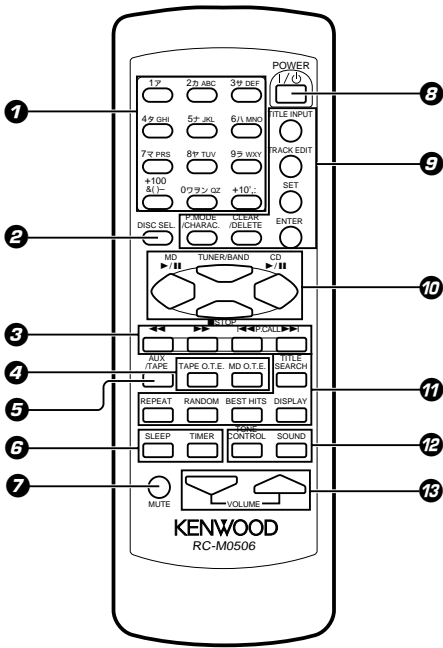
TONE

N.B.（ナチュラルバス）、S.DIRECT（ソースダイレクト）が解除されている場合、TONE CONTROL（トーン コントロール）機能で音質を調整したときに表示します。

MUTE→23

一時的に音を消しているとき（ミュート中）に表示します。

準備編

リモコン部

文中 はリモコンを使った操作手順を示します。

❶ 文字入力/+10、+100、テンキー

MD、CDのトラック番号選択に使います。→25→27
チューナーのプリセットコールに使います。→30
MD編集時、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。→67

❷ DISC SEL.キー→25

CDチェンジャーのディスクを選ぶときに使います。

❸ 基本操作キー

◄◄、►►キー

ソース（音源）がCD、MDのとき→25→27
曲の早送り、早戻しに使います。
ソース（音源）がチューナーのとき→31
周波数から放送局を選ぶときに使います。

I◄◄P.CALL►►Iキー

ソース（音源）がCD、MDのとき→25→27
曲の飛び越し（スキップ）に使います。
ソース（音源）がチューナーのとき→30
記憶させた放送局をプリセット番号から選ぶときに使います。

❹ ワンタッチ録音キー

TAPE O.T.E.キー

別売のカセットデッキ（X-SG7）を接続したときに使います。CD再生中に押すと、再生中の曲だけを、停止中に押すとCD全曲を別売のカセットデッキのテープに録音します。

MD O.T.E.キー→48

CD再生中に押すと、再生中の曲だけを、停止中に押すと、CD全曲をMDに録音します。

❺ AUX/TAPEキー→74

外部ソース（音源）機器を聴くときに使います。

❻ タイマーキー

SLEEPキー→78

SLEEP（おやすみ）タイマーを設定するときに使います。

TIMERキー→77→81

各種タイマーの実行、解除をするときに使います。

❼ MUTEキー→23

一時的に音を消したいときに使います。

❽ I/⏻キー→24

電源のオン、スタンバイを切り換えます。

❾ CD PGM再生/MD編集キー

TITLE INPUTキー→66

ディスク/トラックタイトルを入力するときに使います。

TRACK EDITキー→54

MDを編集するときに使います。

SETキー

ソース（音源）がCD、MDのとき
MD編集の設定や確定などに使います。→54
タイトル表示などを切り換えるときに使います。→25→27
ソース（音源）がチューナーのとき→32
オートプリセットした放送局名を変えるときに使います。
スタンバイ状態のとき→76
時計表示をするときに使います。

ENTERキー

ソース（音源）が、MDのとき→55
MD編集や、入力したタイトルの確定などに使います。
ソース（音源）がチューナーのとき→31
マニュアルプリセットの確定に使います。

P.MODE/CHARAC.キー

ソース（音源）がCD、MDのとき→38→66
PGM再生および入力文字グループの選択に使います。
ソース（音源）がチューナーのとき→31
選局方法を選ぶときに使います。

CLEAR/DELETEキー→40→54→62→67

プログラムや入力文字の取り消しに使います。

❿ 基本操作キー（入力切り換え/再生/停止など）

MD►/IIキー、CD►/IIキー、■STOPキー、TUNER/BANDキー→24→26→30

⑪ **再生モード/その他のキー**

TITLE SEARCHキー→28

MDの曲をタイトルから探すときに使います。

REPEATキー→41

CD、MDを繰り返し再生するときに使います。

RANDOMキー→44

CD、MDの曲順を順不同に再生するときに使います。

BEST HITSキー→51

CDのベストヒッツ再生/録音をするときに使います。

DISPLAYキー

ソースがCD、MDのとき→25→27

再生時間表示の切り換えと録音モードを表示するときに使います。

ソースがチューナーのとき→32

周波数表示と時計表示を切り換えるときに使います。

⑫ **音質調節キー**

TONE CONTROLキー→23

低音、高音の調整に使います。

SOUNDキー→23

S.DIRECT、N.B. *1、およびT.CONTROL*2を選ぶときに使います。なお、N.B. 、S.DIRECT、およびT.CONTROLを重複して動作させることはできません。

*1 **SOUND**キーを押すたびにN.B. 1 、2、解除の切換もできます。

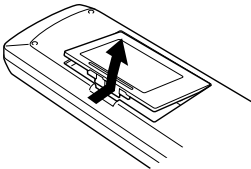
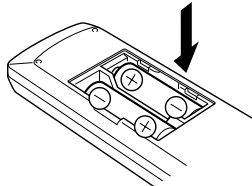
*2 T.CONTROLはあらかじめ調節していない場合は表示はされません。

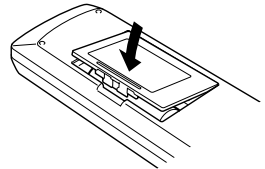
⑬ **VOLUMEキー**→22

音量の調節をします。

リモコンの使いかた

電池の入れかた

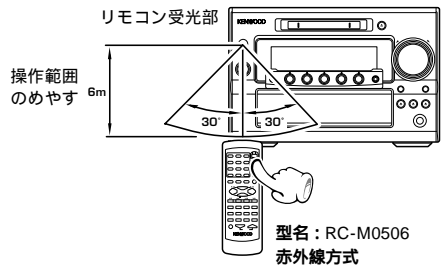
❶ **カバーを開く**

❷ **電池を入れる**

❸ **カバーを閉める**

● 単3電池2個を極性（＋と－）マークにしたがって入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのI/⏻ キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

電源をスタンバイにするときは、再度I/⏻ キーを押します。

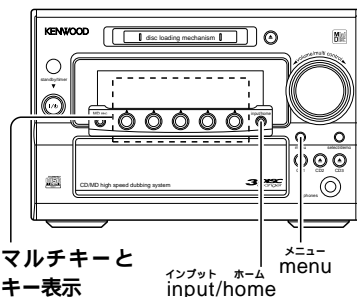
● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。

操作範囲のめやす

● 付属の電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。

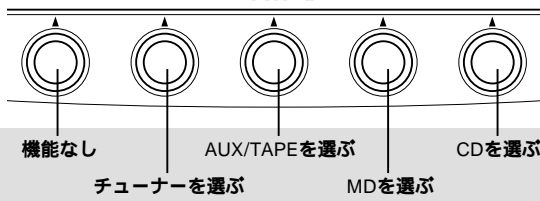
● 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。

● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

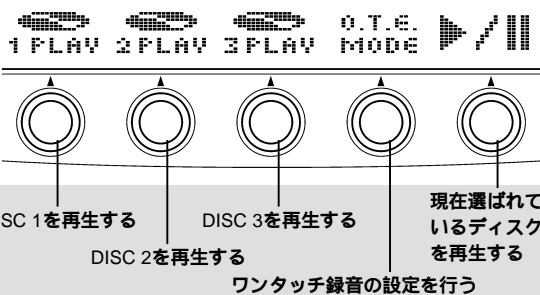
マルチキーの使いかた

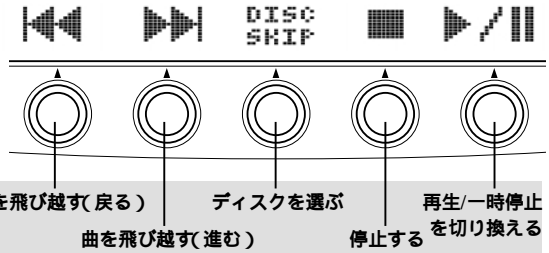
本機では、マルチキー、input/home（インプット ホーム）キーおよびmenu（メニュー）キーを使って、多くの機能を簡単に操作(設定)できます。ここで紹介する操作の詳しい説明は参照ページにある操作手順をご覧ください。

マルチキーの機能は選択されているソース(音源)や動作状況によって変わります

(例1)ソース(音源)選択キー

電源をオンにした、CD、MDをセットした、あるいはinput/home（インプット ホーム）キーを押したとき、ソース(音源)を選択する機能になります。

別売のカセットデッキ(X-SG7)を接続して、再生や早送りなどの基本機能やワンタッチ録音などを本機で操作することができます。→74

(例2)CD停止中の基本操作キー

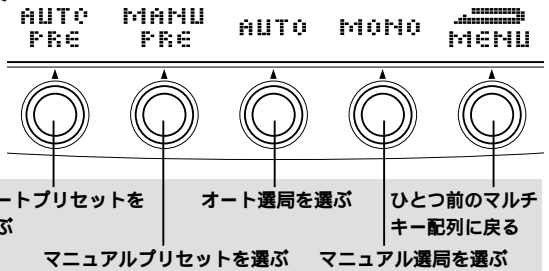
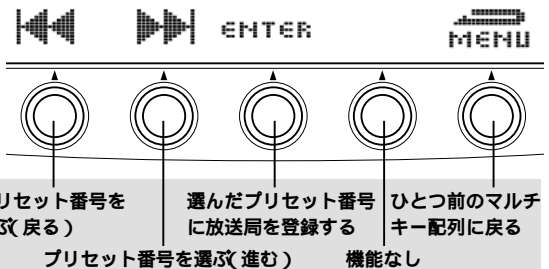
マルチキーの操作でソース(音源)をCDにしたとき、CD停止中にできる機能になります。

(例3)CD再生中の基本操作キー

→25

menu(メニュー)キーとのコンビネーションで様々な設定をおこないます(メニューモード)

(例4)チューナーのマニュアルプリセット

→31

❶ 放送局を受信中に、menu(メニュー)キーを押す

❷ マルチキーMANUAL(マニュアル) PRESET(プリセット)を押す

❸ マルチキー⏮または⏭を押して記憶させたいプリセット番号を選んでからマルチキーENTER(エンター)を押して放送局を登録する

登録が終わるとmenu(メニュー)キーを押す前の状態に戻ります。

基本的な使いかた

電源をオン/オフにする（I/⏻）

聴きたいソース（音源）を選ぶ

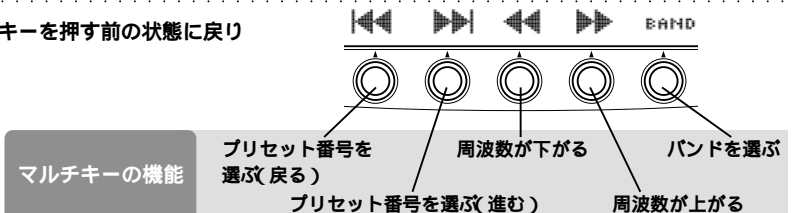
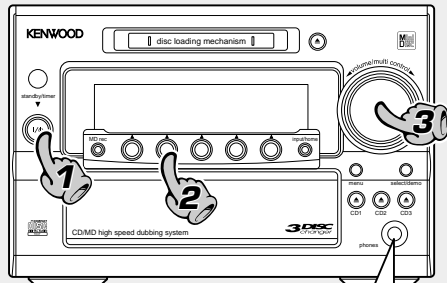
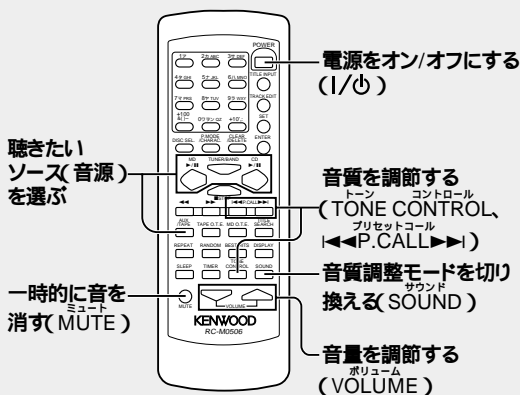
音質を調節する（TONE CONTROL（トーン コントロール）、|◀◀P.CALL（プリセットコール）▶▶|）

音質調整モードを切り換える（SOUND（サウンド））

一時的に音を消す（MUTE（ミュート））

音量を調節する（VOLUME（ボリューム））

ヘッドホン（別売）で聴く

ヘッドホンプラグ

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用してください。

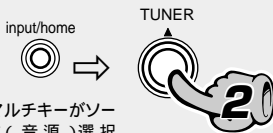
1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときにI/⏻キーを押すとオフ（スタンバイ）になります。

- 電源をオンにしてから約5秒間は、回路保護のためミュート（音が出ない）状態になります。

- マルチキーは約5秒間ソース（音源）選択キーになった後、電源をオフ（スタンバイ）にする直前のソース操作キーになります。

（例）チューナーを選んだ場合

input/home

TUNER

マルチキーがソース（音源）選択キーになっていない（ソースが選べないとき）は、input/home（インプット/ホーム）キーを押します。

2. 聴きたいソース（音源）を選ぶ

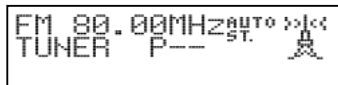
放送局の選局やCD、MDの再生のしかたは、以下のページの操作手順をご覧ください。

マルチキーCD → 24

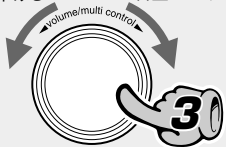
マルチキーMD → 26

マルチキーTUNER（チューナー） → 30

マルチキーAUX/TAPE（テープ） → 74

FM 80.00MHz AUTO ST.
TUNER P--

- リモコンのMD▶/II、TUNER/BAND（チューナー/バンド）、CD▶/II、AUX/TAPE（テープ）キーを押してもソース（音源）を選ぶことができます。（MD▶/II、CD▶/IIキーを押した場合は自動的に再生もはじまります。）

音量を下げる　音量を上げる

volume/multi control

3. 音量を調節する

- 早く回すと、変化量が大きくなります。（AI VOLUME（ボリューム）機能）
- 表示部に目安の数字（0～80）が表示されます。

目安の数字

一時的に音を消す（リモコンのみ）

- 元の音量に戻すにはもう一度**MUTE**キーを押します。
- **VOLUME** キーで音量を操作したときもミュートが解除されます。

ヘッドホン（別売）で聴く

❶ ヘッドホン（別売）のプラグをphones端子に差し込む

- スピーカーから音が出なくなります。

❷ volume/multi controlつまみを回して音量を調節する

- プラグの抜き差しをするときは、あらかじめ音量を下げておいてください。

音質を調節する（TONE CONTROL）

❶ select/demoキーを押す

❷ volume/multi controlつまみを回して"TONE CONT. ?"を選び、select/demoキーを押す

❸ 再度volume/multi controlつまみを回して"BASS"（低域）をお好みのレベル（-5～+5）に調節し、select/demoキーを押して確定する

❹ 再度volume/multi controlつまみを回して"TREBLE"（高域）をお好みのレベル（-5～+5）に調節し、select/demoキーを押して確定する

- リモコンの場合、**TONE CONTROL**キーを繰り返し押して**"BASS"**または**"TREBLE"**を選び、**|◀◀P.CALL▶▶|**キーを押してレベルを調節することができます。

ソース（音源）のオリジナルな音を聴く（S.DIRECT）

CDやMDなどソース（音源）の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。

❶ select/demoキーを押す

❷ volume/multi controlつまみを回して"S. DIRECT ?"を選び、select/demoキーを押す

❸ 再度volume/multi controlつまみを回して"ON"を選び、select/demoキーを押す

- S.DIRECTを解除するには、手順❸で**"OFF"**を選びます。

メリハリの効いた音にする（N.B.）

❶ select/demoキーを押す

❷ volume/multi controlつまみを回して"N.B.?"を選び、select/demoキーを押す

❸ 再度volume/multi controlつまみを回して音質（"1"、"2"）を選び、select/demoキーを押して確定する

- N.B. 1は音量に応じて低音と高音を、N.B. 2は低音のみを強調します。
- N.B.を解除するには、手順❸で**"OFF"**を選びます。
- リモコンの**SOUND**キーでもN.B.を動作させることができます。**SOUND**キーを押すたびに**"N.B. 1"**、**"N.B. 2"**を選ぶことができます。

左右のバランスを調整する（BALANCE）

❶ select/demoキーを押す

❷ volume/multi controlつまみを回して"BALANCE ?"を選び、select/demoキーを押す

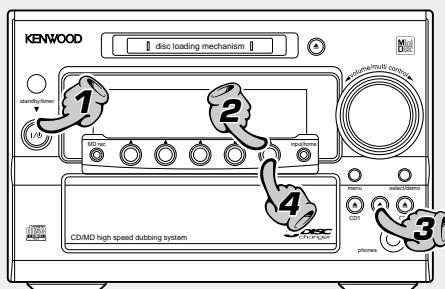
❸ 再度volume/multi controlつまみを回して、バランスを調整し、select/demoキーを押して確定する

バランスの設定の位置表示

右の音が小さくなる ← 中央 → **左の音が小さくなる**

基礎編

CDを聴く

3枚のディスクを収納できます。再生中でも他の2枚のディスクの入れ替えができます。

1. 電源をオンにする

- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. マルチキーCDを押す

- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、**input/home**キーを押してください。

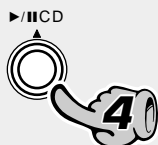
▲CD1-3キーを押すとその番号のCDトレイが開き、もう一度同じキーを押すとCDトレイが閉じます。CDトレイが開いているときに別の番号キーを押すと、CDトレイが閉まってから、押した番号のCDトレイが開きます。

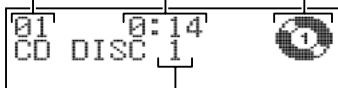
3. ディスクを入れる

❶ CDトレイを開ける
❷ ディスクを入れる
❸ CDトレイを閉める

❶〜❸を繰り返して、3枚までディスクを収納できます。

- CDトレイを閉める時は必ず**▲CD 1-3**キーを押して閉めてください。
- CDの再生面には、触れないようにしてください。
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは使用できません。

*"故障かな?と思ったら"の脚注をご覧ください。→ 88

4. 再生をはじめる

- ディスク番号が表示されているディスクの再生がはじまります。
- 本機に複数のディスクが入っている場合、1枚の再生が終了したら次のディスクが自動的に再生されます。全てのディスクを再生して止まります。(リレー再生)

曲を飛び越す（スキップ）

- 再生中に**マルチキー⏮**または**⏭**を押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。前の曲に戻るには、**マルチキー⏮**を連続して素早く押します。間隔をあけてゆっくり押したのでは、何回押してもその曲のはじめにしか戻りません。
- 再生中に**マルチキー⏮**を1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。
- リモコンの場合、停止中でも**⏮P.CALL⏭**（プリセットコール）キーを押して曲をスキップすることができます。この場合、スキップした後自動的に再生がはじまります。

好きな曲から聴く

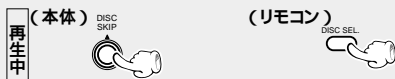
❶ ディスクを選ぶ

停止中

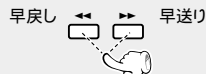
- **マルチキー1ー3 PLAY**（プレイ）から選んで押します。

再生中

（本体） DISC SKIP

（リモコン） DISC SEL.

- **マルチキーDISC SKIP**（ディスク スキップ）を押すたびにディスクが切り換わります。
- リモコンの場合、**DISC SEL.**（ディスク セレクト）キーを押すたびにディスクが切り換わります。

❷ 曲を飛び越す

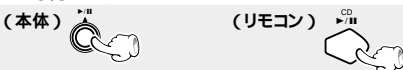
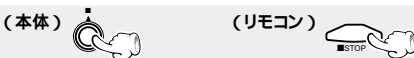
早送り・早戻しする（リモコンのみ）

- 再生中に押しつづけ、手を離したところで再生に戻ります。

一時停止する

（本体） ▶/⏸

- ソース（音源）表示が点滅します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

（本体） ■

ディスクの置きかた

ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。（ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。）

CDの時間表示について（リモコンのみ）

CDの再生中、DISPLAY（ディスプレイ）キーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

表示	内容
1:23	① **曲の経過時間**
-2:37	② **曲の残り時間**
23:50T	③ **ディスクの総経過時間**
-36:50T	④ **ディスクの総残り時間**

- プログラムまたはランダム再生時は、① と ② のみの表示となります。

タイトル表示について　（リモコンのみ）

CD TEXT（テキスト）対応ディスクを再生する場合、CD再生中（または停止中）にSET（セット）キーを押すと、CDに記録されている文字情報を表示部に表示することができます。
SET（セット）キーを押すたびに、以下の項目が切り換わります。

→ ディスク番号 → トラックタイトル（曲名）*1 → ディスクタイトル（ディスク名）*2 →

***1 再生中のみスクロール表示します。**
***2 スクロール表示します。**

ダイレクト選曲について

リモコンの+10、テンキーを押して、聴きたい曲をカンタンに選ぶことができます。

23曲目を選ぶとき

+10 +10 3 **の順に押す**

30曲目を選ぶとき

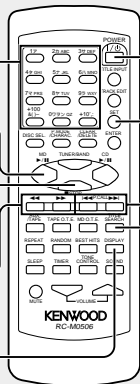
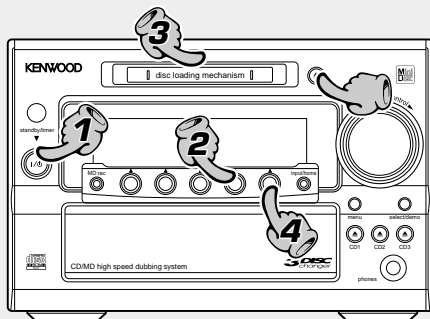
+10 +10 +10 0 **の順に押す**

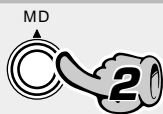
⚠ 注意　レーザー光源をのぞかない

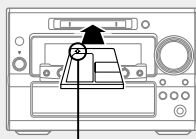
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

基礎編

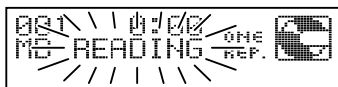
MDを聴く

ミニディスクを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

1. 電源をオンにする

- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. マルチキーMDを押す

- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、**input/home**キーを押してください。

3. ミニディスクを入れる

矢印の方向に入れる

- ミニディスクは、ミニディスク挿入口に確実に差し込んでください。

ディスクを取り出すには

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

4. 再生をはじめる

- 設定されている録音モードで再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトル(曲名)を表示します。
- **"READING"**の点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

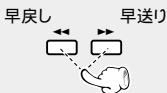
基礎編

曲を飛び越す(スキップ)

(本体) 戻る 進む (リモコン) 戻る 進む

- 再生中に**マルチキー**⏮または⏭を押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。前の曲に戻るには、**マルチキー**⏮を連続して素早く押します。間隔をあけてゆっくり押したのでは、何回押してもその曲のはじめにしか戻りません。
- 再生中に**マルチキー**⏮を1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。
- リモコンの場合、停止中でも⏮**P.CALL**⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合、スキップした後自動的に再生がはじまります。

早送り、早戻しする(リモコンのみ)

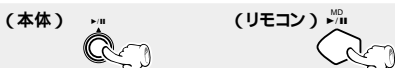
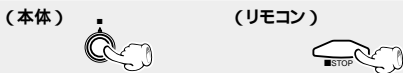
早戻し 早送り

- 再生中に押しつづけ、手を離したところで再生に戻ります。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。
- 一時停止中に早送り、早戻しした場合、手を離したところで一時停止に戻ります。

一時停止する

(本体) (リモコン)

- ソース(音源)表示が点滅します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

(本体) (リモコン)

MDの再生モードについて

MDの曲は、録音したときの録音モード(REC MODE)に従って再生されます。
DISPLAYキーを押して、再生中の曲の録音モードを確認することができます。
MDLPはMD規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3を採用して、ステレオ2倍(または4倍)の長時間録音、再生モードの機能を持ったMDレコーダーやMDプレーヤーまたは、ATRAC3により音声録音されているMDメディア(再生専用MD)に表示されています。

MDの時間表示について

DISPLAYキーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

(リモコン)

表示	
0:30	① **曲の経過時間**
-3:24	② **曲の残り時間**
12:24T	③ **ミニディスクの総経過時間**
-53:24T	④ **ミニディスクの総残り時間**
50:50R	⑤ **ミニディスクの録音可能な総残り時間**
LP2	⑥ **再生中は曲の録音モード 停止時は現在設定されている録音モード**

- 1曲リピート、ランダム再生時は、①、②と⑥の表示となります。
- プログラム再生時は、④はプログラムされた曲の総残り時間表示となります。
- 1曲も録音されていない場合、**"BLANK DISC"**と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)。
- 再生専用MDでは、⑤は表示されません。
- ⑤は録音モードの設定によって録音残量表示も変わります。

ダイレクト選曲について

リモコンの+10、+100、テンキーを押して、聴きたい曲をカンタンに選ぶことができます。

23曲目を選ぶとき
+10 +10 3 **の順に押す**

30曲目を選ぶとき
+10 +10 +10 0 **の順に押す**

213曲目を選ぶとき
+100 +100 +10 3 **の順に押す**

タイトル表示について (リモコンのみ)

MDの再生中(または停止中)にSETキーを押すと、ミニディスクに記録されている文字情報を表示部に表示することができます。
再生中にSETキーを押すと、トラックタイトル(曲名)が、停止中にSETキーを押すと、ディスクタイトル(ディスク名)がスクロール表示されます。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

基礎編

聴きたい曲をタイトルで探す　(タイトルサーチ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲の名前（タイトル）をあらかじめつけておくと、聴きたい曲をタイトルから探すことができます。

→ 66

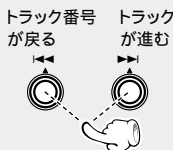
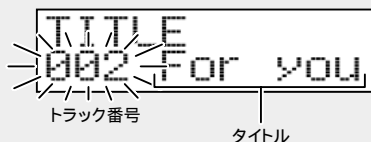
❶ 停止中にマルチキーTITLE SEARCHを押す

（本体）　　**（リモコン）**

- リモコンの場合、停止、再生中どちらでも**TITLE SEARCH**キーを押してタイトルサーチをはじめることができます。

❷ マルチキー⏮または⏭を押して、タイトルを選ぶ

（本体）　　**（リモコン）**

トラック番号が戻る　トラック番号が進む　トラック番号が戻る　トラック番号が進む

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と **"••••"** が表示されます。

❸ マルチキー►II（リモコンMD►/II）を押す。

（本体）　　**（リモコン）**

- 選んだ曲の再生がはじまります。

途中でやめる

（本体）　　**（リモコン）**

MDのステレオ長時間録音と再生について

本機は、MDのステレオ長時間録音と再生に対応しています。（MDLP対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音楽ソースに使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について (LP2、LP4)

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4モードはLP2モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音（STEREO）で録音してください。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO）：
　録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。
ステレオ2倍長時間録音（LP2）：
　音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。
ステレオ4倍長時間録音（LP4）：
　音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。
モノラル長時間録音（MONO）：
　録音される音声はモノラルになりますが、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ（STAMP）機能

本機でステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲のタイトルの始めの部分に「**LP:**」を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に「**LP:**」が表示されます。
「**LP:**」は本機での再生中には表示されません。タイトル編集時のみ表示されます。
「**LP:**」は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、スタンプ（STAMP）機能のON（「**LP:**」をつける）またはOFF（「**LP:**」をつけない）の設定もすることができます。

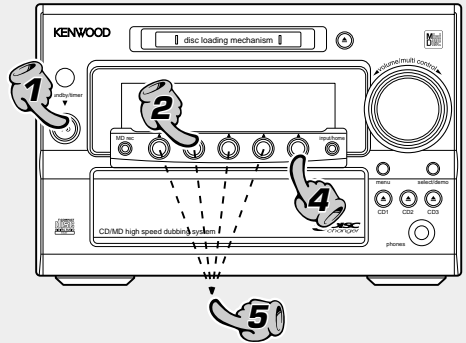
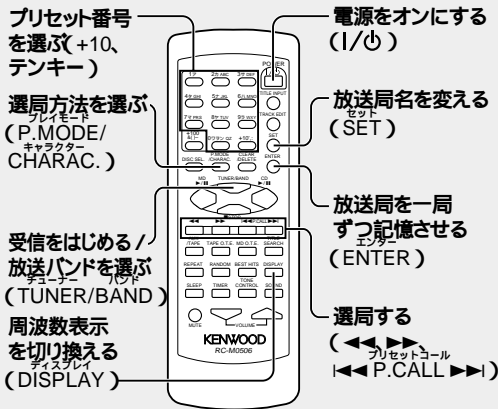
ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

基礎編

メモ
- 異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ（CONBINE）" → 60

ラジオ放送を聴く

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。

1. 電源をオンにする

- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. マルチキーTUNERを押す

- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、**input/home**(インプット ホーム)キーを押してください。

3. 放送局を記憶させる

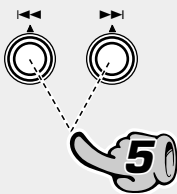
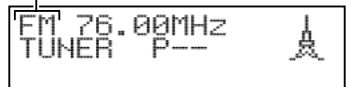
"放送局をオートプリセットする"の手順に従い、お住まいの地域で受信できる放送局を自動的に記憶させてください。

→ 32

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からこの手順は不要です。

4. 放送バンドを選ぶ

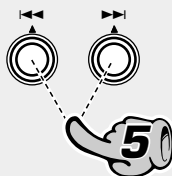
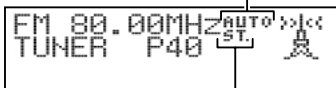
押すたびに切り換わります。

→ ① **"FM"**
② **"AM"**

5. 選局する(プリセットコール)

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、**マルチキー|◀◀** または **▶▶|**を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

  マルチキー▶▶|を押すと… 1→2→3 ..... 38→39→40→1 .....

  マルチキー|◀◀ を押すと… 40→39→38 ..... 3→2→1→40.....

- リモコンでは、|◀◀**P.CALL**▶▶|(プリセットコール)キーあるいは**+10**、テンキーを押して選局します。

放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき*： **マルチキー◀◀**または**▶▶**を押すと、次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき*：**マルチキー◀◀**または**▶▶**を受信するまで繰り返し押します。あるいは キーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら離します。

● リモコンでは、◀◀または▶▶キーを押して選局します。

* 下記**"選局方法を選ぶ"**を参照してください。

選局方法を選ぶ

お買い上げ時はオート選局／ステレオ受信になっていますが、電波が弱く雑音が多い場合はマニュアル選局／モノラル受信を選んでください。音声はモノラルになりますが聴き取り易くなります。

❶ menu（メニュー）キーを押す

❷ マルチキーMONO（モノラル）を押して"AUTO"を消灯させる

（本体） **（リモコン）**

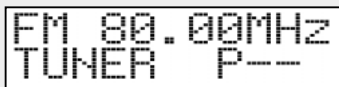
❸ マルチキーMENUを押して、設定を終了する

● 通常はオート選局にしておきます。

● オート選局に戻すには、手順❷で**"AUTO"**を点灯させます。

● リモコンでは、**P.MODE（プレイモード）/CHARAC.（キャラクター）**キーを押して選局方法を選びます。押すたびにオート選局とマニュアル選局が切り換わります。

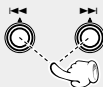
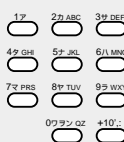
放送局を一局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

❶ 記憶させたい放送局を受信中にmenu（メニュー）キーを押す

● リモコンのみで操作するとき、**menu（メニュー）**キーを押す必要はありません。

❷ マルチキーMANU PRE（マニュアル プリセット）を押す

（本体） **（リモコン）**

● リモコンでは、**ENTER（エンター）**キーを押します。

❸ マルチキー|◀◀ または ▶▶|を押して 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

（本体） **（リモコン）**

プリセット番号の表示

● リモコンでは、**+10**、テンキーを押してプリセット番号を選びます。

❹ マルチキーENTER（エンター）を押してプリセットを確定する

● ひとつ前のマルチキー配列に戻るには、**マルチキー**MENUを押します。

● 途中でプリセットをやめるときは、**input（インプット）/home（ホーム）キー**を押します。

● プリセットを続けるときは、手順❶〜❹を繰り返します。

● 同じプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

基礎編

放送局をオートプリセットする （エリア別FM放送局名自動表示）

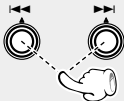
お住まいの都道府県名を設定すると、近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を（FM放送のみ）表示することができます。

❶ ソースがTUNERのときに、menuキーを押す

❷ マルチキーAUTO PREを押す

```
FM 82.50MHz
ケンメイ ミセッテイ?
```

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録していない場合は、**"ケンメイ　ミセッテイ?"** と表示されます。
- ひとつ前のマルチキー配列に戻るには、**マルチキー** MENUを押します。

❸ マルチキー⏮ または ⏭を押してお住まいの都道府県名を選ぶ

東京都を選択したとき

```
ケンメイ セッテイ
トウキョウ      ?
```

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、**"放送局名リスト"**に従ってオートプリセットされます。 →33
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。 →31
- オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
  放送局名表示は放送局名リストに載っているFM放送局のみに対応しています。
- ひとつ前のマルチキー配列に戻るには、**マルチキー** MENUを押します。

❹ マルチキーENTERを押す

- **"AUTO PRESET"**が点滅して順次FM局を記憶して、次にAM局を記憶します。

```
FM 78.00MHz
bayfm
```

オートプリセット終了後、FM受信中は放送局名が表示されます。

基礎編

チューナーの周波数表示について （リモコンのみ）

放送局を受信中にDISPLAYキーを押すたびに表示部の表示が切り換わります。

① FM 80.00MHz （周波数表示）
② 3:00 pm （時刻の点滅表示）

希望の放送局名が表示されないとき（リモコンのみ）

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SETキーを押してリストにある別の放送局名に変えることができます。押すたびに放送局名が変ります。

- 受信中の周波数に放送局名が登録されていない場合、または放送局を受信していない場合は、放送局名が表示されません。
- オートプリセットが終わると、一番最初にオートプリセットした放送局を受信します。受信中の周波数に放送局名が登録されていない場合は、**"TUNER"** と表示します。

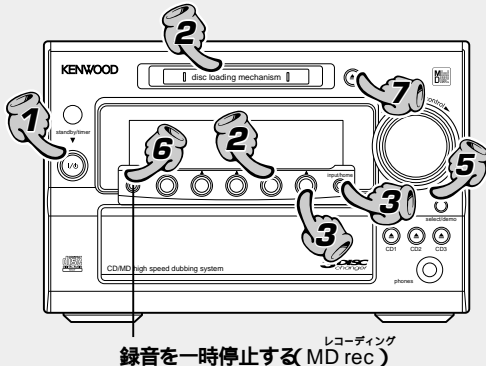
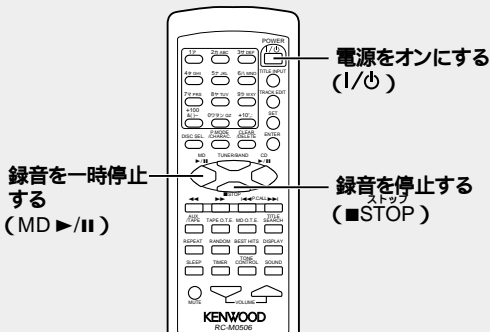
放送局名リスト

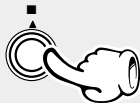
2000年 7月現在

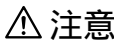
	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G ’
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX

	放送局	表示名
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO - i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
	エフエム岡山	FMオカヤマ
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

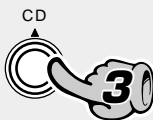
MDに録音する

MDへの録音は、すべての録音機能でATRAC3(MDLP)での長時間録音ができます。
ここで説明するMD recキーを使った録音方法は、主にチューナーと外部ソース機器を録音するときに便利です。
CDを録音するには"ワンタッチエディット録音(O.T.E.)"をお勧めします。 →47

1. 電源をオンにする

- マルチキーは約5秒間ソース(音源)選択キーになった後、電源をオフ(スタンバイ)にする直前のソース操作キーになります。

2. MDの録音準備をする

- 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に確実に入れてください。
- すでにミニディスクを再生しているときは、**マルチキー■**(リモコン**■stop**キー)を押してください。

⚠ **注意** **電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。必ず電源をオンにしてください。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。**

3. 録音したいソースを選ぶ

(例)CDを選んだ場合

- マルチキーがソース(音源)選択キーになっていない(ソースが選べない)ときは、**input/home**キーを押してください。

録音するソース(音源)と録音形式および録音するソースを選ぶためのマルチキーは以下のようになります。

録音するソース(音源)	録音形式*3	ソース(音源)を選ぶキー
チューナー (ラジオ放送の録音)	(アナログ録音) →35	**マルチキーTUNER**
外部ソース機器*1	(アナログ録音)	**マルチキーAUX/TAPE**
外部ソース機器*2	(デジタル録音)	**マルチキーMD**
CD	(デジタル/アナログ録音)→37	**マルチキーCD**

*1 AUX (TAPE)入力端子に接続した外部ソース機器 →35

*2 デジタル入力OPTICAL端子に接続した外部ソース機器を録音、再生する場合、ソース(音源)はAUX/TAPEではなくMDでMONITORモードにします。(手順**4.**を参照してください) →35

*3 お買い上げ時の録音形式はCDはデジタルになっています。
必要に応じてアナログに切り換えてください。 →37

4. ソース(音源)の準備をする

マルチキーTUNERを押したとき(チューナー)

選局をする →30

マルチキーAUX/TAPEを押したとき(外部ソース機器、アナログ録音)

受信や再生などの準備をする

マルチキーMDを押したとき(外部ソース機器、デジタル録音)

マルチキーMONITORを押して**"DIGITAL AUX"***を表示させて(**MONITOR**モードにして)から、再生などの準備をする

＊**"UNLOCK"**と**"DIGITAL AUX"**が交互に点滅する場合は、**"メッセージ表示の一覧"**の**"UNLOCK"**をご覧ください。 →88

マルチキーCDを押したとき(CD)

録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする →24

5. 録音モードを設定する

❶ select/demoキーを押して 'REC MODE ? 'を選びselect/demoキーを押す

❷ volume/multi controlつまみを回して、好みの録音モードを選びselect/demoキーを押す

- **STEREO** .. ステレオ録音：MDカートリッジに表示されている時間分録音できます。
- **LP2** .... ステレオ2倍長時間録音：MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分録音できます。
- **LP4** .... ステレオ4倍長時間録音：MDカートリッジに表示されている約4倍の時間分録音できます。
- **MONO** ..... モノラル録音：MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分のモノラル録音ができます。

❸ ❷でLP2またはLP4を選んだときは、volume/multi controlつまみを回してLP:STAMPの 'ON 'または 'OFF 'を選びselect/demoキーを押す

- **ON** ：曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入る
- **OFF** ：曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入らない

6. 録音をはじめる

MD rec

↓

MD rec　**または**　►/II

(CDシンクロ録音)

❶ MD recキーを押す(録音一時停止状態になります)

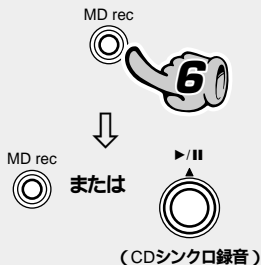
❷ 準備ができていれば、再度MD recキーを押す(録音がはじまります)

- ソースがCDのとき、マルチキー►/IIを押すとCDの再生とMDの録音がはじまります。(CDシンクロ録音)
- マルチキーCONFIRMを押すと録音中のINPUTモードと録音モードを表示します。 →36

❸ ソース(音源)の再生をはじめる*

- 録音レベルの調整が必要な場合は、録音一時停止中に行います。 →37

＊チューナーの場合、またはCDシンクロ録音の場合は、この手順は不要です。

基礎編

7. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

● 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。**"MD WRITING"**表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止する

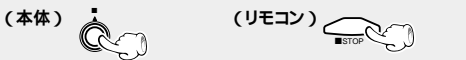
（本体）　（リモコン）

● 再度録音をはじめるには、**MD rec**（レコーディング）キー（リモコン**MD►/II**キー）を押します。このとき、トラック番号は**"1"**繰り上がります。

● CD録音中のみ、**マルチキー►/II**（リモコン **CD►/II**）を押して録音とCD再生を一時停止することができます。録音とCD再生を再開するには**マルチキー► / II**（リモコン **CD►/II**）を押します。

録音を停止する

（本体）

（リモコン）

CD-TEXTが記録されているCDの場合、TEXTデータは記録されません。

MDに録音中の設定モードを確認するには

MDに録音中（セレクタがMD以外またはMDのMONITOR時）の設定モードを表示によって確認できます。

● MDの録音または一時停止中に**マルチキーCONFIRM**（コンファーム）を押すと、現在設定されているREC（レック） INPUT（インプット）モード（ANALOG（アナログ）、DIGITAL（デジタル））、録音モード（LP2、LP4、MONO）が表示されます。

● CDの録音で、一時停止中にREC（レック） INPUT（インプット）モード（ANALOG（アナログ）、DIGITAL（デジタル））の設定を変えたいときは、**マルチキーANLG/DGTL**（アナログ/デジタル）を押して切り換えてください。

録音時のトラック番号について

CDからの録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

外部入力機器からの録音のとき、入力信号が2秒以上一定レベル以下になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくると、トラック番号を自動的に**"1"**繰り上げます。（チューナー録音の場合は、信号のノイズ等によりトラック番号が繰り上らない場合があります。）また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が**"1"**繰り上がる場合があります。不要なところでついたトラック番号は、あとで削除できます。

もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にリモコンの**TRACK EDIT**（トラック エディット）キーを押すと、その位置にトラック番号をつけることができます。

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

録音中に押す

基礎編

CDの録音形式を選ぶ(ソースがCDのとき)

市販のCDをMDに録音する場合、録音形式はお買い上げ時と同じ"DIGITAL"(デジタル録音)を選びます。しかし、CDをMDに録音する場合、SCMS*によりデジタルで録音ができないことがあります。この場合は、録音形式を"ANALOG"(アナログ録音)に切り換えてください。

*詳しくは**"SCMSについて"**をご覧ください。 →84

録音一時停止中に、マルチキーANLG/DGTLを押す

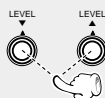
● 録音形式を**"DIGITAL"**に戻すには、録音一時停止中に、**マルチキーANLG/DGTL**を押します。

外部ソース機器の録音レベルを調整する

(ソースがMDのとき)

外部ソース機器のデジタル入力レベルを調整することができます。

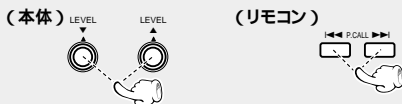
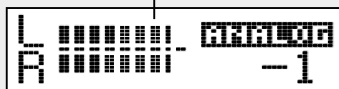
❶ **MDのMONITOR(モニター)モード*中に、マルチキーREC LEVEL(レコーディング レベル)を押す**

❷ **マルチキーLEVEL(レベル)▼またはLEVEL(レベル)▲を押してお好みのレベル(-20〜+6)に調整する**

❸ **マルチキーRETURNを押して調整を終了する**

*"**MDに録音する**"の手順***3.***と***4.***を参照してください。 →34 →35

録音レベルを調整する

❶ **録音または録音一時停止中にマルチキーREC LEVEL(レコーディング レベル)を押す**

❷ **マルチキーLEVEL(レベル)▼またはLEVEL(レベル)▲(リモコン|◀◀P.CALL(プリセットコール)▶▶|)を押してお好みのレベル(アナログ録音時は-20〜0、デジタル録音時は-20〜+6)に調整する**

❸ **マルチキーRETURNを押して調整を終了する**

ディスプレイのメッセージについて

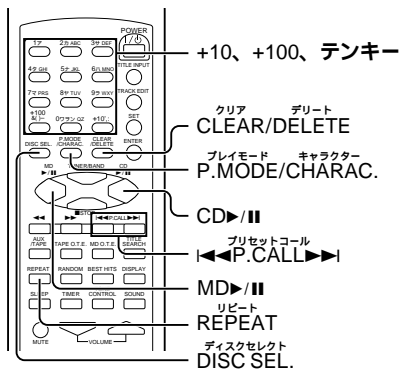
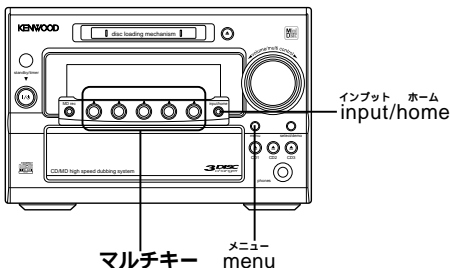
ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL"　:ミニディスクが一杯になっている。
➡不要な曲を消す。→62 〜→65
"PROTECTED":誤消去防止つまみが開いている。
➡閉める。→83
"PLAY ONLY"　:再生専用ミニディスクである。
➡録音用ミニディスクを入れる。

CD と MD のいろいろな再生（メニューモード）

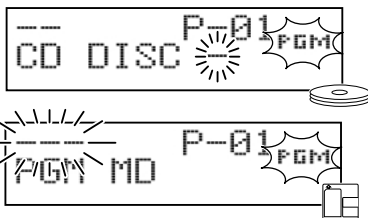
長時間録音（LP2、LP4、MONO）されたMDも再生できます。

曲順を並べ替えて聴く（PGMモード再生）

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。CDの場合は、複数のディスクから選ぶことができます。（最大32曲）

あらかじめソースをCDまたはMDにしてください →24 →26

 はリモコンを使った操作手順を示します。

- PGMモード再生の場合、本体キーだけあるいはリモコンキーだけで操作してください。本体とリモコンの手順を取り混ぜて行うと正しく動作しないことがあります。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーMENUを押します。**
- **メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。**

1 停止中にmenuキーを押す

2 マルチキーP.MODEを押す

1 P.MODE/CHARAC.キーを押す

- **"PGM"**が点灯しPGMモードになります。
- 停止中のみ、PGMモードにすることができます。

3 マルチキーDISC 1-3を押してディスクを選ぶ（CDの場合のみ）

 2 DISC SEL.を押してディスクを選ぶ（CDの場合のみ）

：CD再生時の表示内容を示します。

：MD再生時の表示内容を示します。

マルチキーP.MODEを押したときの表示例

ディスクを選んだ後の表示例（CDの場合のみ）

ディスク番号

応用編

次のページにつづく

4 マルチキー|◀◀または▶▶|を押して曲を選ぶ

3 +10、+100、テンキーを押して曲を選ぶ

→25 →27

5 マルチキーSET（セット）を押して曲を確定する

4 P.MODE（プレイモード）/CHARAC.（キャラクター）キーを押して曲を確定する

- 確定した後しばらくの間、次の操作をしないとプログラム停止状態になります。プログラムを続けるときは、**"曲を追加する"**の手順でプログラムをします。 →40

6 手順3～5（MDの場合は4と5）を繰り返してプログラムを続ける

最後の曲をプログラムするとき、**マルチキーSET（セット）**ではなく**マルチキーENTER（エンター）**を押して曲を確定します。

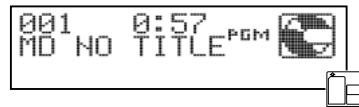
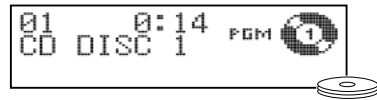
5 リモコンの手順2～4（MDの場合は3と4）を繰り返してプログラムを続ける

- 32曲までプログラムできます。**"PGM FULL"**が表示されると、それ以上プログラムできません。

7 マルチキー▶/IIを押してプログラム再生をはじめる

6 CD▶/IIキー（MD▶/IIキー）を押してプログラム再生をはじめる

- プログラムした順（P-番号順）に再生します。
- PGM（プログラム）モード再生、停止中に**マルチキーREP.（リピート）**（リモコン**REPEAT（リピート）**キー）を押すと、PGM（プログラム）モード再生を繰り返すことができます。

マルチキー▶/IIを押したときの表示例

プログラムした曲を取り消す

 はリモコンを使った操作手順を示します。

最後の曲から取り消していくとき（PGMモード停止中のみ）

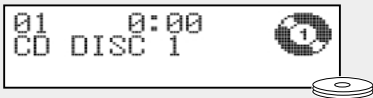
マルチキーCLEARを押して、プログラム最後の曲から1曲ずつ取り消す

プログラム番号が減っていきます

 CLEAR/DELETEキーを押してプログラムの最後の曲から1曲ずつ取り消す

全ての曲を取り消すとき（PGMモード再生、停止中）

❶ **menuキーを押す**

❷ **マルチキーP.MODEを押す**

● **"PGM"**が消灯します。

 P.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させる

曲の途中で次の曲に移る

マルチキー▶▶|を押す

 P.CALL▶▶|キーを押す

● マルチキー|◀◀を1回押すと、再生中の曲のはじめに戻ります。

 |◀◀P.CALLキーを押して再生中の曲のはじめに戻る

曲を追加する（PGMモード停止中、リモコンのみ）

 1 **CDプログラムのとき**

DISC SEL.キーを押してディスクを選ぶ

MDプログラムのとき

手順2からはじめる

 2 **+10、+100、テンキーを押して曲を選ぶ**

● **"PGM FULL"**が表示されるとそれ以上プログラムを続けられません。

 3 **P.MODE/CHARAC.キーを押して、選んだ曲を確定する**

● 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

 4 **手順1〜3（MDの場合は2と3）を繰り返してプログラムを続ける**

プログラムした曲の内容を確認する（PGMモード停止中のみ）

プログラム終了後、マルチキーCHECKを押す

● 押すたびに1曲目から順にプログラムされた曲が表示されます。

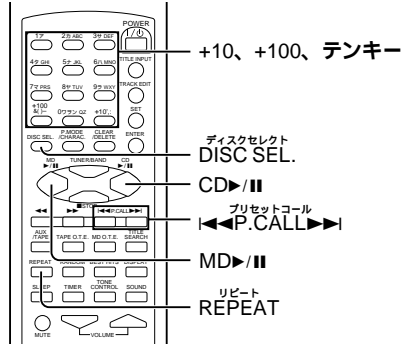
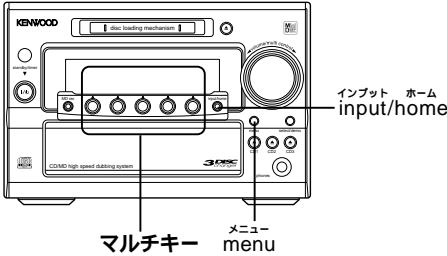
PGMモードを解除する

● 上記**"プログラムした曲を取り消す"**の**"全ての曲を取り消すとき"**の手順でPGMモード再生を解除することができます。

応用編

● 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
● BEST HITSプログラム再生中に上記**"曲を追加する"**の手順を行うと、BEST HITSプログラムが解除されます。
● 電源をオフにすると、設定したPGMモード再生は解除されます。
● ディスクを取り出すと、設定したプログラムの中から、取り出したディスクにあった曲だけが削除されます。

繰り返し聴く (REP.モード再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。"好きな1曲"、"好きな1枚"、"全てのディスク"(CDの場合のみ)の3種類のリピート再生ができます。

あらかじめソースをCDまたはMDにしてください →24 →26

はリモコンを使った操作手順を示します。

● **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーMENUを押します。**
● **メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。**

:CD再生時の表示内容を示します。
:MD再生時の表示内容を示します。

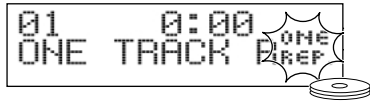
1曲を繰り返し聴く

1 再生または停止中にmenuキーを押す

2 マルチキーREP.を押す

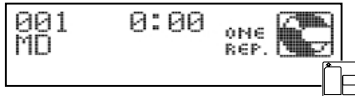
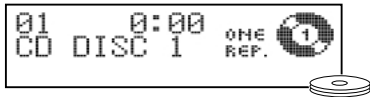
3 マルチキーONEを押す

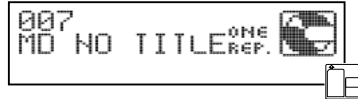
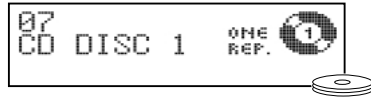
1 REPEATキーを繰り返し押して"ONE REP."を点灯させる

● **"ONE REP."**が点灯します。

"ONE TRACK REPEAT"がスクロール表示されます。

4 マルチキー1-3 PLAY(DISC1-3)(CDの場合のみ)あるいはマルチキー▶/IIを押して再生をはじめる

2 DISC SEL.を押してディスクを選ぶ(CDの場合のみ)

応用編

5 マルチキー|◀◀または▶▶|を押して繰り返し聴きたい曲を選ぶ

3 +10、+100、テンキーまたは|◀◀P.CALL▶▶|キーを押して曲を選ぶ →25 →27

1枚のディスクを繰り返し聴く

1 再生または停止中にmenuキーを押す

2 マルチキーREP.を押す

3 CDのとき
マルチキーDISCを押す
MDのとき
マルチキーALLを押す

1 REPEATキーを繰り返し押して"DISC REP."（MDの場合は"ALL REP."）を点灯させる

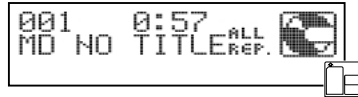
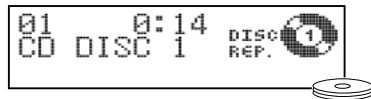
- **"DISC REP."**（MDの場合は**"ALL REP."**）が点灯します。

"DISC REPEAT"がスクロール表示されます。

"ALL REPEAT"がスクロール表示されます。

4 マルチキー1-3 PLAY（DISC1-3）（CDの場合のみ）あるいはマルチキー▶/IIを押してREP.モード再生をはじめる

2 DISC SEL.を押してディスクを選ぶ（CDの場合のみ）

3 CD▶/IIキー（MD▶/IIキー）を押してREP.モード再生をはじめる

はリモコンを使った操作手順を示します。

全てのディスクを繰り返し聴く（CDの場合のみ）

1 **CDの再生または停止中にmenuキーを押す**

2 **マルチキーREP.を押す**

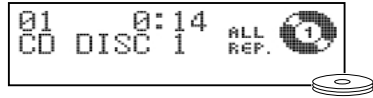
3 **マルチキーALLを押す**

1 **REPEATキーを繰り返し押して"ALL REP."を点灯させる**

- **"ALL REP."**が点灯します。

"ALL REPEAT"がスクロール表示されます。

4 **マルチキー1-3 PLAY(DISC1-3)あるいはマルチキー▶/IIを押して再生をはじめる**

2 **DISC SEL.を押してディスクを選ぶ**
3 **CD▶/IIキーを押してREP.モード再生をはじめる**

曲の途中で次の曲に移る

マルチキー▶▶|を押す

 P.CALL▶▶|キーを押す

- **マルチキー|◀◀**を1回押すと、再生中の曲のはじめに戻ります。

 |◀◀P.CALLキーを押して再生中の曲のはじめに戻る

REP.モードを解除する

❶ **REP.モード再生、停止中にmenuキーを押す**

❷ **マルチキーREP.を押す**

" REPEAT OFF"がスクロール表示されます。

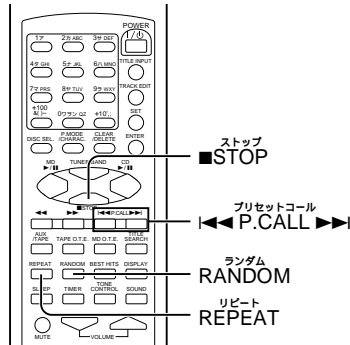
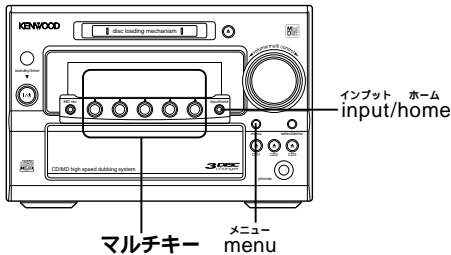
 REPEATキーを繰り返し押して"ONE REP."、"DISC REP."、"ALL REP."を消灯させる

応用編

メモ

- 電源をオフにしたり、ディスクを取り出したりすると、REP.モードは解除されます。

ランダム再生を楽しむ（RANDOMモード再生）

CDやMDがランダム（無作為）な曲順で再生されるので、1枚（CDの場合は3枚まで）のディスクを飽きることなく楽しむことができます。"1枚のディスク"、"全てのディスク"（CDの場合のみ）の2種類のRANDOMモード再生ができます。

● マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーMENUを押します。
● メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。

あらかじめソースをCDまたはMDにしてください →24 →26

 はリモコンを使った操作手順を示します。

：CD再生時の表示内容を示します。

：MD再生時の表示内容を示します。

1枚のディスクをランダムに再生する

1 再生または停止中にmenuキーを押す

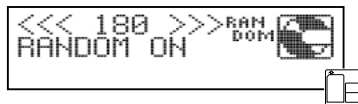
2 マルチキーRANDOMを押す

● MDの場合、この手順で**"RANDOM"**が点灯しRANDOMモード再生がはじまります。

"RANDOM ON"がスクロール表示されます。

3 マルチキーDISCを押す（CDの場合のみ）

RANDOMキーを押して"RANDOM"を点灯させる

● CDの場合、選ばれているディスクからRANDOMモード再生がはじまります。
● 全曲のRANDOMモード再生が1回終わると停止します。
● RANDOMモード再生中に**マルチキーREP.**（リモコン**REPEAT**キー）を押すと、RANDOMモード再生を繰り返すことができます。

"DISC RANDOM"がスクロール表示されます。

応用編

はリモコンを使った操作手順を示します。

全てのディスクをランダムに再生する（CDの場合のみ）

1 **CDの再生または停止中にmenu（メニュー）キーを押す**

2 **マルチキーRANDOM（ランダム）を押す**

3 **マルチキーALL（オール）を押す**

RANDOM（ランダム）キーを押して"ALL RANDOM"を点灯させる

- 選ばれているディスクから全ディスクRANDOM（ランダム）モード再生がはじまります。
- すべてのディスクの全曲のRANDOM（ランダム）モード再生が1回終わると停止します。
- RANDOM（ランダム）モード再生中に**マルチキーREP.**（リピート）（リモコン**REPEAT**（リピート）キー）を押すと、RANDOM（ランダム）モード再生を繰り返すことができます。

"ALL RANDOM"がスクロール表示されます。

曲の途中で次の曲に移る

マルチキー►►|を押す

P.CALL（プリセットコール）►►|キーを押す

- マルチキー|◄◄を1回押すと、再生中の曲のはじめに戻ります。

|◄◄P.CALL（プリセットコール）キーを押して再生中の曲のはじめに戻る

RANDOM（ランダム）モードを解除する

❶ **ランダム再生中にmenu（メニュー）キーを押す**

❷ **マルチキーRANDOM（ランダム）を押す**

" RANDOM OFF"がスクロール表示されます。

RANDOM（ランダム）キーを繰り返し押して"RANDOM"を消灯させる

- **マルチキー■**（リモコン**■STOP**（ストップ）キー）を押してもRANDOM（ランダム）モードを解除することができます。

応用編

- CDとMDを組み合わせたRANDOM（ランダム）モード再生はできません。
- 電源をオフにしたり、ディスクを取り出したりすると、RANDOM（ランダム）モードは解除されます。

便利な録音あれこれ

MDへの録音は、すべての録音機能でATRAC3（アトラック）（MDLP）での長時間録音ができます。

録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。

CDの録音をカンタンにしたいときは

ワンタッチエディット録音（O.T.E.（ワンタッチエディット））

→47 →48

全曲倍速録音（HIGH O.T.E.（ハイスピードワンタッチエディット））	**CDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。**
全曲録音（O.T.E.（ワンタッチエディット））	**CDの全曲を、カンタンな操作でMDに録音することができます。**
一曲録音（O.T.E.（ワンタッチエディット））	**その時に聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作でMDに録音することができます。（はじめて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）**

曲を選び曲順を並べ替えて録音をしたいときは

プログラム録音（PGM（プログラム）モード再生＋O.T.E.（ワンタッチエディット））

→49

プログラム録音	**プログラムした曲順で録音します。（CDの曲を、好きな曲順にプログラムしてMD録音するときに便利です。）**

好きなCDの一曲目だけを再生、録音したいときは

ベストヒッツプログラム編集（BEST（ベスト） HITS（ヒッツ））

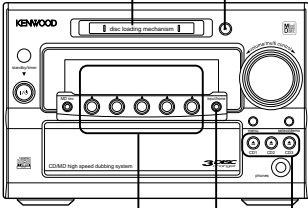
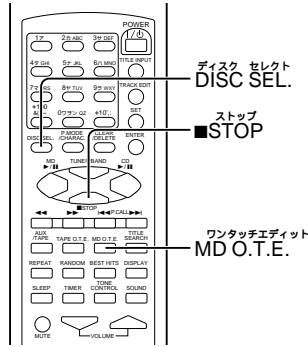
→51 →52

BEST（ベスト） HITS（ヒッツ）プログラム再生	**本機にセットされたCDの、各々最初の1曲目だけを自動的にプログラムして再生します。（あるCDを再生中に他のCDの取り替えができるため、シングルCDなどのヒット曲を続けて再生するときに便利です。）**
BEST（ベスト） HITS（ヒッツ）プログラム録音	**ベストヒッツプログラムで再生された曲を録音します。（お気に入りのオリジナルヒット曲集を作るときに便利です。）**

● ミニディスクに録音した後は、▲キーを押して必ずディスクを取り出してください。取り出すときに録音情報がミニディスクに書き込まれます。

CDの全曲、1曲をワンタッチで録音する
（ワンタッチエディット録音）（O.T.E.）

CDからMDにワンタッチ操作でカンタンに録音することができます。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。**
- **録音モードを解除するには、input/homeキーを押します。**

CDの全曲をワンタッチで倍速録音する
（HIGH O.T.E.）（本体のみ）

1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる →34 →83

2 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる →24

3 CD停止状態にする →24

他のソースを選んでいるとき

input/homeキーを押した後**マルチキーCD**を押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

マルチキーCDを押す

4 録音モードを設定する（35ページの手順5.を行なう）

5 マルチキーO.T.E. MODEを押す

6 マルチキーDISC 1-3を押してディスクを選ぶ

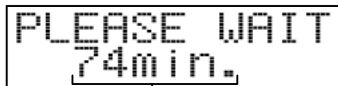
7 マルチキーHIGH O.T.E.を押す

- 選んだCDの1曲目から倍速録音がはじまり、全曲を録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- CD倍速再生またはMD倍速録音のどちらかが停止すると､もう一方の動作も自動的に停止します。

8 倍速録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- **"MD WRITING"**表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

- いったん倍速録音（HIGH O.T.E.）をはじめてしまうと、録音をはじめてから74分以内に同じディスクを倍速録音することはできません。この場合、続けて同じディスクを録音したいときは、O.T.E.で録音をしてください。 →48

PLEASE WAIT
74min.

同じディスクの倍速録音ができるようになるまでの時間

- 手順7で**マルチキーHIGH O.T.E.**を押した後、実際の録音がはじまるまで数秒間**"RECⅡ"**が表示されます。この間に**マルチキー■**を押して倍速録音を中止した場合は、74分経過しなくても同じディスクを倍速録音することができます。

はリモコンを使った操作手順を示します。

CDの全曲をワンタッチで録音する(O.T.E.)

1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる →34 →83

2 ≜CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる →24

3 CD停止状態にする

他のソースを選んでいるとき

input/homeキーを押した後**マルチキーCD**を押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

マルチキーCDを押す

4 録音モードを設定する（35ページの手順5.を行なう）

5 マルチキーO.T.E. MODEを押す

6 マルチキーDISC 1-3を押してディスクを選ぶ

1 上記の本体手順1～3を済ませた後、DISC SEL.キーを繰り返し押してディスクを選ぶ

7 マルチキーO.T.E.を押す

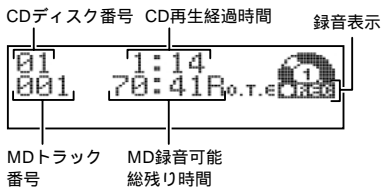
2 MD O.T.E.キーを押して録音をはじめる
- 録音終了後、下記の本体手順8も行ってください。

- 選んだCDの1曲目から録音がはじまり、全曲を録音します。
- CD再生またはMD録音のどちらかのが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

8 録音終了後、≜キーを押してミニディスクを取り出す
- **"MD WRITING"**表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

CDで再生中の一曲だけをワンタッチで録音する(一曲O.T.E.)（リモコンのみ）

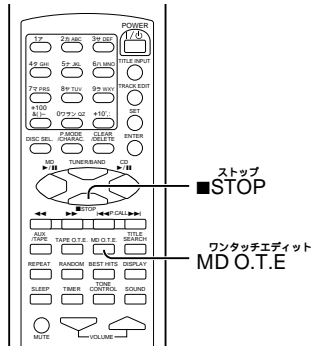
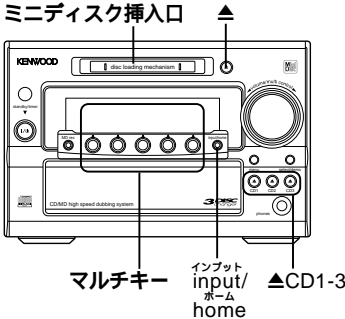
録音したい曲を再生中にリモコンのMD O.T.E.キーを押す
- 曲の途中で**MD O.T.E.**キーを押しても、その曲のはじめから再生と録音がはじまります。
- 録音が終了するとCDは一時停止状態になります。

録音を途中でやめる

マルチキー■を押す
- 録音と再生が共に終了します。

 ■STOPキーを押す

- PGMモードまたはBEST HITSプログラムと組み合わせて、ワンタッチエディット録音をすることができます。→49 →51

曲順を並べ替えて録音する（PGMモード再生＋O.T.E.）（プログラム録音）

3枚のCDの中から曲順を並べ替えてプログラムしたものを1枚のMDに録音することができます。

1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる →34 →83

2 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる →24

3 CD停止状態にする →24

他のソースを選んでいるとき

input/homeキーを押した後**マルチキーCD**を押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

マルチキーCDを押す

4 "曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順1～6で録音する曲をプログラムをする →38

5 録音モードを設定する（35ページの手順5.を行なう）

6 マルチキー O.T.E.キーを押す

上記の本体手順1～5を済ませた後、MD O.T.E.キーを押して録音をはじめる

- 録音終了後、下記の本体手順7も行ってください。

- プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
- CDプログラム再生が終わると自動的に録音が停止します。

7 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- **"MD WRITING"**表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。**
- **メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。**

- プログラムに従って、再生するCDを本機が自動的に交換している間は、録音も自動的に一時停止になるため不要な（無音声部分の）録音はされません。
- MDの録音可能時間を超えてプログラムされた曲は録音されません。
- REP.モード再生と組み合わせてO.T.E.録音することはできません。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめる

マルチキー■を押す

● 録音と再生が共に終了します。

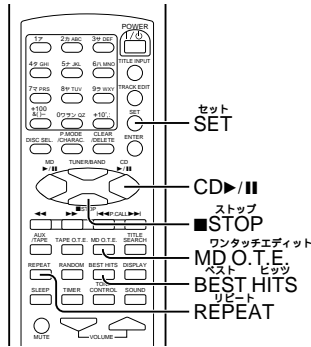
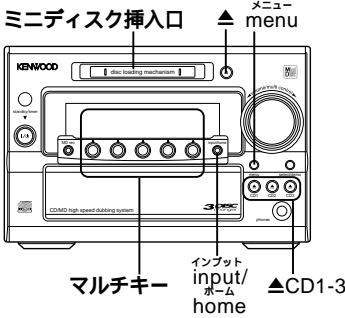
■STOP(ストップ)キーを押す

PGM(プログラム)モード再生を解除する

"プラグラムした曲を取り消す"の"全ての曲を取り消すとき"の手順でPGMモードを解除することができます。

→ 40

複数のCDの1曲目だけを再生、録音する（BEST HITSプログラム機能）

セットされている全てのCDの1曲目を、トレイ1から順に 再生、録音します。
シングルCDなどのヒット曲（1曲目）を録音するときに便利です。
録音中でも、すでに録音が終わったCDの入れ替えができます。

- マルチキーのキー配列をひとつ前の手順に戻すには、マルチキーRETURNを押します。
- メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。

あらかじめ PGM モードは解除してください
→ 40

はリモコンを使った操作手順を示します。

複数のCDの1曲目だけを再生する（BEST HITSプログラム再生）

1 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる → 24

2 CD停止状態にする → 24

他のソースを選んでいるとき

input/homeキーを押した後**マルチキーCD**を押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

マルチキーCDを押す

3 menuキーを押す

- CD停止中のみ、BEST HITSプログラム再生をはじめることができます。

4 マルチキーBEST HITSを押す

1 上記の本体手順1、2を済ませた後、BEST HITSキーを押す

- **"BEST HITS PGM"**がスクロール表示されます。

5 マルチキー▶/IIを押す

2 CD▶/IIキーを押す

- 選ばれているディスクからBEST HITSプログラム再生がはじまります。
- 再生中のディスク番号が点滅します。
- BEST HITSプログラム再生中、**menuキー**を押してから**マルチキーREP.**（リモコンの場合**REPEAT**キーのみ）を押すと、BEST HITSプログラム再生を繰り返すことができます。

順にディスクを入れ替えていくと、入れ替えた順番で中断することなく再生、録音を続けることができます。

表示の切り換えについて

CD TEXT対応ディスクを再生する場合、BEST HITSプログラム再生中にリモコン**SET**キーを押すと、押すたびに以下の項目が切り換わります。

表示	内容
01 KENWOOD	**トラック番号とタイトル**
HITS 1>2>3	**再生中のディスク番号が点滅**

応用編

複数のCDの1曲目だけを録音する（BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム録音）

1 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に入れる →34 →83

2 ▲CD1-3キーを押してCDトレイにディスクを入れる →24

3 CD停止状態にする

他のソースを選んでいるとき

input/home（インプット/ホーム）キーを押した後**マルチキーCD**を押す

ディスクをセットした後、ソース選択キーになっている間

マルチキーCDを押す

4 録音モードを設定する（35ページの手順5.を行なう）

5 menu（メニュー）キーを押す

6 マルチキーBEST HITS（ベスト ヒッツ）を押す

1 上記の本体手順1～4を済ませた後、BEST HITS（ベスト ヒッツ）キーを押す

● **"BEST HITS PGM"**がスクロール表示されます。

7 マルチキーO.T.E.（ワンタッチエディット）を押す

2 MD O.T.E.（ワンタッチエディット）キーを押して録音をはじめる
- 録音終了後、下記の本体手順8も行ってください。

● 再生中のディスク番号が点滅します。
● BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム再生またはMD録音のどちらかが終了すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

8 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

● **"MD WRITING"**表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム再生、録音を途中でやめる

マルチキー■を押す

■STOP（ストップ）キーを押す

BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム機能を解除する

1 BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラムモード中にmenu（メニュー）キーを押す

2 マルチキーBEST HITS（ベスト ヒッツ）を押す

BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラムモード中にBEST HITS（ベスト ヒッツ）キーを押す

● 通常の再生に戻ります。
● BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラムモードで録音中のときは、いったん録音を停止してから上記手順でBEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム機能を解除します。

表示の切り換えについて

BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム録音中、**マルチキーCHECK**（チェック）（リモコン**SET**（セット）キー）を押すたびに以下の項目が切り換わります。

010 54:00R	**トラック番号とミニディスク全体の録音可能時間**
HITS 1>2>3	**再生中のディスク番号が点滅**

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

● BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラムに従って、再生するCDを本機が自動的に交換している間は、録音も自動的に一時停止になるため不要な（無音声部分の）録音はされません。
● MDの録音可能時間を超えてBEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラムされた曲は録音されません。
● REP.（リピート）モード再生と組み合わせてBEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム録音することはできません。

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

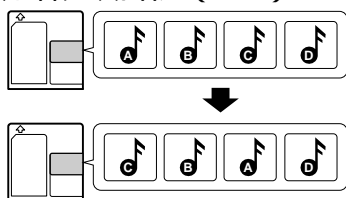
編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。 →83

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、確認ください。 →86 →87

曲順の入れ替え

曲順をまとめて入れ替える（QUICK（クイック） MOVE（ムーブ）） →54

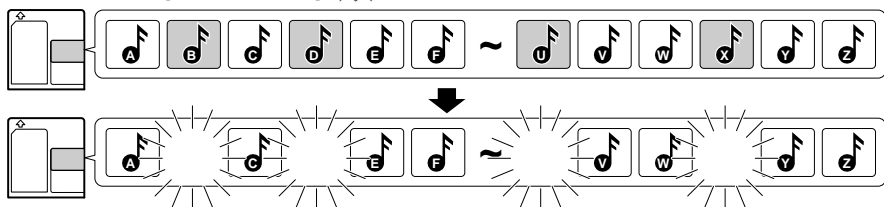
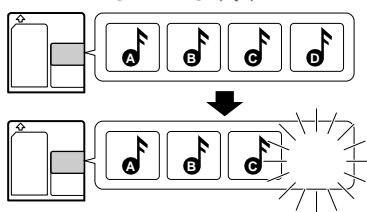
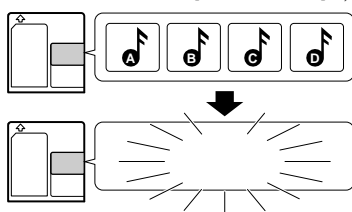
曲順を1曲ずつ入れ替える（MOVE（ムーブ）） →56

曲の分割と結合

曲を分ける（DIVIDE（ディバイド）） →58

曲をつなぐ（COMBINE（コンバイン）） →60

曲の消去

曲をまとめて消す（QUICK（クイック） ERASE（イレース）） →62

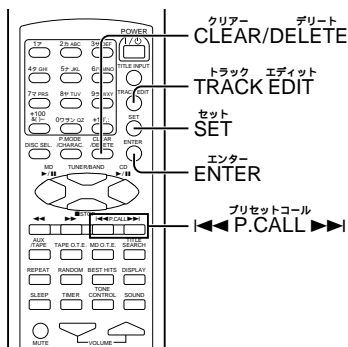
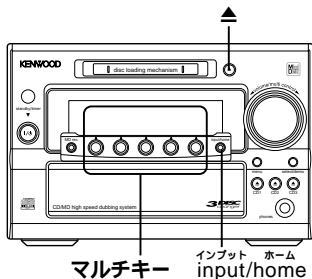
1曲ずつ消す（ERASE（イレース）） →64

MD内の曲を全て消す（ALL（オール） ERASE（イレース）） →65

ミニディスクや曲にタイトルをつける（リモコンのみ） →66

タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける（TITLE（タイトル） COPY（コピー））（TITLE（タイトル） MEMO（メモ））（リモコンのみ） →71

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す（EDIT（エディット） CANCEL（キャンセル）） →73

曲順をまとめて入れ替える（QUICK MOVE）

並べたい順に曲（トラック番号）を選び出し、ひとまとめにして曲順を入れ替えることができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調節されます。

1回の編集で入れ替えられるのは、32曲までです。

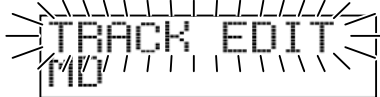
 はリモコンを使った操作手順を示します。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー RETURN を押します。**
- **MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。**

1 MD停止中にマルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す

- 手順**2**に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度**TRACK EDIT**キーを押します。

- MD編集モードになります。

2 マルチキーQUICK MOVEを押す

2 ⏮ P.CALL ⏭ キーを繰り返し押して"Q. MOVE"を選ぶ

3 SETキーを押して"Q. MOVE"を確定する

トラック番号　　トラックタイトル

3 マルチキー⏮または⏭を押して入れ替えたい曲（トラック番号）を選ぶ

4 ⏮P.CALL⏭キーを押して曲を選ぶ

4 マルチキーSETを押して選んだ曲を確定する

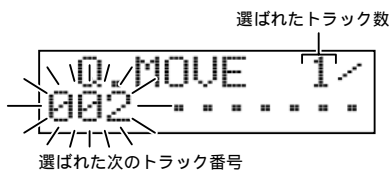
5 SETキーを押して曲を確定する

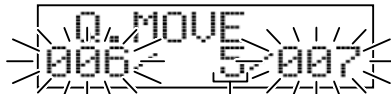
- 選んだ曲は取り消すことができます。 →55

選ばれたトラック数

選ばれた次のトラック番号

5 手順3、4を繰り返して、並べたい順に曲を選び出す

6 手順4、5を繰り返して、並べたい順に曲を選び出す

次のページにつづく

6 マルチキーENTERを押す

7 ENTERキーを押す

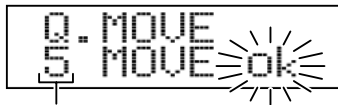
7 マルチキー|◀◀または▶▶|を押して選び出した曲の移動先を選ぶ

8 |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して移動先を選ぶ

- 移動先は、選ばれた曲の直前、直後一組のトラック番号で表示され、キーを押すたびに前後します。

選び出した曲をMDの先頭に移動する場合

8 マルチキーSETを押して曲数を確認する

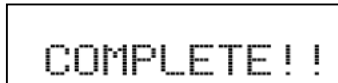
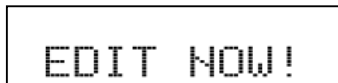
9 SETキーを押して曲数を確認する

9 マルチキーENTERを押して入れ替えを確定する

10 ENTERキーを押して入れ替えを確定する

- 編集終了後、下記の本体手順10も行ってください。

- "EDIT NOW !"表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、編集が中断されることがあります。

EDIT NOW!

COMPLETE!!

10 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

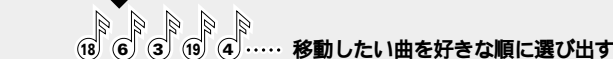
選んだ曲を取り消す

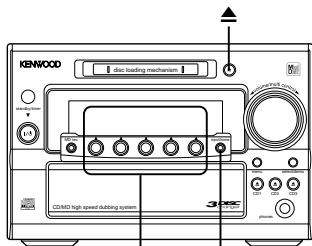
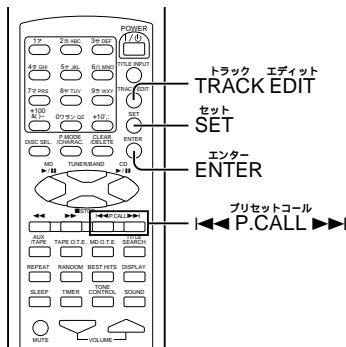
- 手順6の前に、リモコンのCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに選んだ曲の最後から順に取り消します。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。

→73

応用編

曲順をまとめて入れ替えるイメージ

曲順を1曲ずつ入れ替える (MOVE)

再生中の曲を、お好みの位置へ移動(挿入)することができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。
MOVEを繰り返し行うと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。

 はリモコンを使った操作手順を示します。

- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。

1 移動したい曲の再生または一時停止中にマルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す

- 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。

- MD編集モードになります。

2 マルチキーMOVEを押す

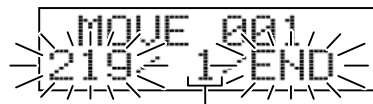
2 |◀◀ P.CALL ▶▶| キーを繰り返し押して"MOVE"を選ぶ

3 SETキーを押して"MOVE"を確定する

3 マルチキー|◀◀または▶▶|を押して曲の移動先を選ぶ

4 |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して移動先を選ぶ

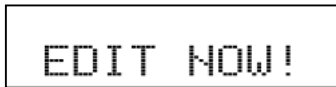
- 移動先は、選ばれた曲の直前、直後一組のトラック番号で表示され、キーを押すたびに前後します。

曲をMDの最後に移動する場合

曲の直前になるトラック番号　移動する曲の数(常に"1"になります)　曲の直後になるトラック番号

4 マルチキーSET（セット）を押して移動を確認する

5 SET（セット）キーを押して移動を確認する

5 マルチキーENTER（エンター）を押して移動先を確定する

6 ENTER（エンター）キーを押して移動先を確定する
- 編集終了後、下記の本体手順6も行ってください。

- 移動が済んだ後は、その移動した曲のはじめで一時停止になります。
- **"EDIT NOW !"**表示中に⏏キーや、I/⏻キーを押すと、編集が中断されることがあります。

6 編集終了後、⏏キーを押してミニディスクを取り出す

- **"MD WRITING"**表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

EDIT NOW!

COMPLETE!!

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →73

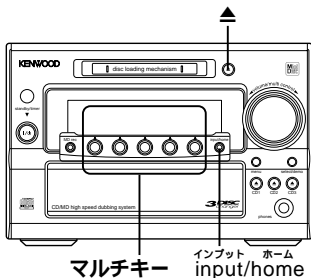
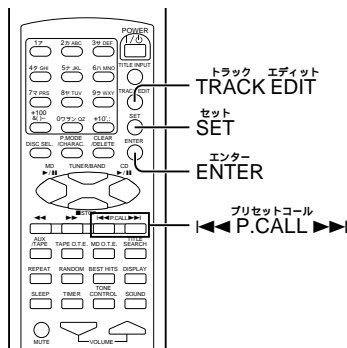
曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ

1 2 3 4 5 6 7 …… 22 **移動する曲を選ぶ**

移動先を選ぶ

1 2 3 4 5 6 …… 21 22 **曲順の入れ替えが完了する（トラック番号が調整される）**

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。
プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 曲の再生中、分割したいところ(分割ポイント)でマルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す

- 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。

- MD編集モードで一時停止になります。

2 マルチキーDIVIDEを押す

2 |◀◀ P.CALL ▶▶| キーを繰り返し押して"DIVIDE"を選ぶ

3 SETキーを押して"DIVIDE"を確定する

プレビュー再生で分割ポイントの微調整をしないときは、手順2の後にマルチキーENTER(リモコンENTERキー)を押してから手順6へ進みます。

3 マルチキーSETを押してプレビュー再生をはじめる

4 SETキーを押してプレビュー再生をはじめる

- 一時停止したところから後に続く約3秒間を繰り返し再生します。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。**
- **MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。**

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割することはできません。(LP2/MONOモードの場合：4秒、LP4モードの場合：8秒)
- 分割した曲の最後と新しくできた曲の最初(分割ポイントの前後)には無音声部分ができません。

一時停止中のトラック番号　　分割でできる新しいトラック番号

次のページにつづく

4 **プレビュー再生を聴きながら、マルチキー|◀◀または▶▶|を押して分割ポイントを微調整する**

5 **|◀◀P.CALL▶▶|キーを押して分割ポイントを選ぶ**

- キーを押すたびに分割ポイントが1ステップ(6/100秒)づつ前後します。(-31～+31ステップの範囲で微調整ができます。)

5 **マルチキーSETを押して分割ポイントを確定する**

6 **SETキーを押して分割ポイントを確定する**

6 **マルチキーENTERを押して分割を確定する**

7 **ENTERキーを押して分割を確定します。**
- 編集終了後、下記の本体手順**7**も行ってください。

- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- **"EDIT NOW !"**表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、並べ替えが中断されることがあります。

EDIT NOW!

COMPLETE!!

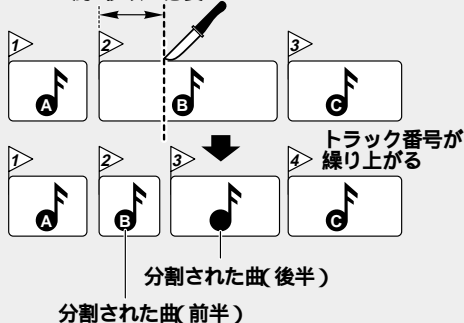
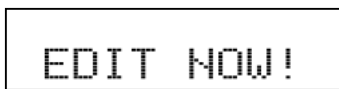
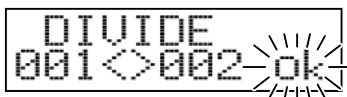
手順4～6を繰り返し、最大255箇所まで曲を分割することができます。

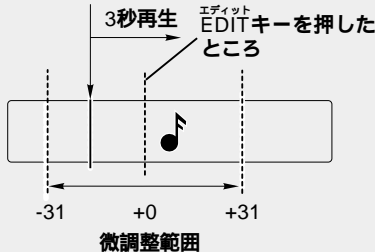
7 **編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す**

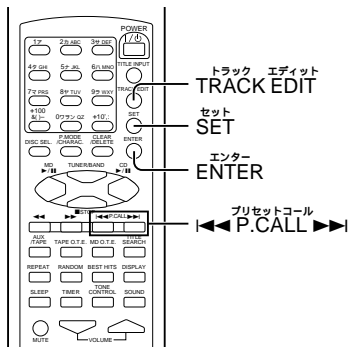
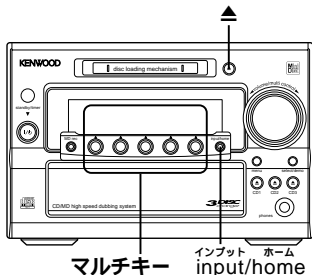
- **"MD WRITING"**表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →73

曲を分割するイメージ（例：STEREOモードの場合）

プレビュー再生のイメージ

応用編

曲をつなぐ（COMBINE）

2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

● マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー RETURN を押します。
● MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。

はリモコンを使った操作手順を示します。

1 つなげたときに前になる曲を再生中に、マルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す
- 手順**2**に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度**TRACK EDIT**キーを押します。

- MD編集モードで一時停止になります。

2 マルチキーCOMBINEを押す

2 ⏮ P.CALL ⏭ キーを繰り返し押して"COMBINE"を選ぶ

3 SETキーを押して"COMBINE"を確定する

COMBINE
004+005 ?

3 マルチキー⏮または⏭を押して、つなげたときに後ろになる曲（トラック番号）を選ぶ

4 ⏮P.CALL⏭キーを押して曲を選ぶ

4曲目と1曲目をつなぐ場合の例

つなげたときに前になるトラック番号　　つなげたときに後ろになるトラック番号

4 マルチキーSETを押して、つなげたときに後ろになる曲を確定する

5 SETキーを押して曲を確定する

次のページにつづく

5 マルチキーENTER(エンター)を押して結合を確定する

6 ENTER(エンター)キーを押して結合を確定する

- 編集終了後、下記の本体手順6も行ってください。

- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- **"EDIT NOW !"**表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、編集が中断されることがあります。

6 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- **"MD WRITING"**表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

EDIT NOW!

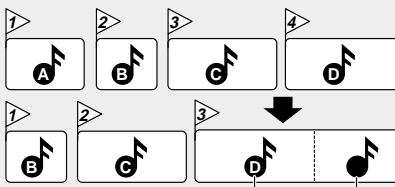
COMPLETE!!

- 録音モードが異なる曲をつなげることはできません。（例：LP2＋LP4等） →29

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →73

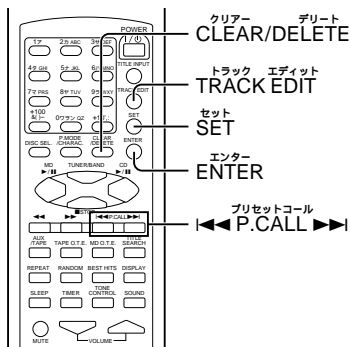
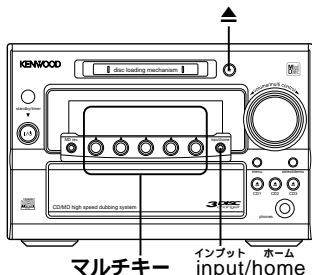
曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合

トラック番号が調整される

前半部のトラック番号とタイトルが残る

後半部のトラック番号とタイトルは消える

曲をまとめて消す （QUICK ERASE）

曲（トラック番号）を選び出し、まとめて消去することができます。曲を消し終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

1回の編集で消去できるのは、32曲までです。

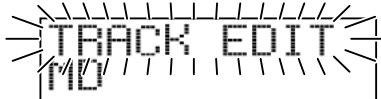
 はリモコンを使った操作手順を示します。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキー RETURN を押します。**
- **MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。**

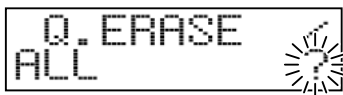
1 MD停止中にマルチキーTRACK EDITを押す

 1 TRACK EDITキーを押す

- 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度**TRACK EDIT**キーを押します。

- MD編集モードになります。

2 マルチキーQUICK ERASEを押す

2 ◀◀P.CALL▶▶ キーを繰り返し押して"Q. ERASE "を選ぶ

3 SETキーを押して"Q. ERASE"を確定する

3 マルチキー◀◀または▶▶を押して消したい曲（トラック番号）を選ぶ

 4 ◀◀P.CALL▶▶キーを押して曲を選ぶ

選ばれたトラック番号　トラックタイトル

4 マルチキーSETを押して選んだ曲を確定する

5 SETキーを押して曲を確定する

- 選んだ曲は取り消すことができます。 →63

選ばれた曲の数

次のページにつづく

5 手順❸、❹を繰り返して、消したい曲を選び出す

6 **手順4、5を繰り返して、消したい曲を選び出す**

6 マルチキーENTER（エンター）を押して、消したい曲を確定する

7 **ENTER（エンター）キーを押して、消したい曲を確定する**

消去するトラック数

7 マルチキーENTER（エンター）を押して、消去を確定する

8 **ENTER（エンター）キーを押して消去を確定する**

- 編集終了後、下記の本体手順❽も行ってください。

- **"EDIT NOW !"**表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、編集が中断されることがあります。

EDIT NOW!

COMPLETE!!

8 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

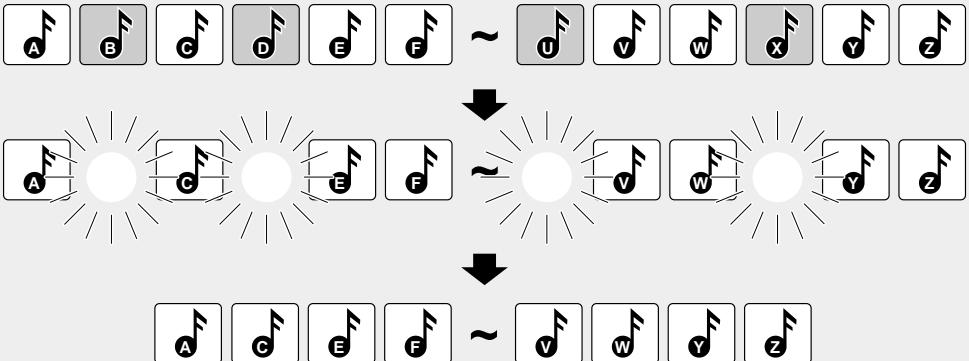
- **"MD WRITING"**表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →73

選んだ曲を取り消す

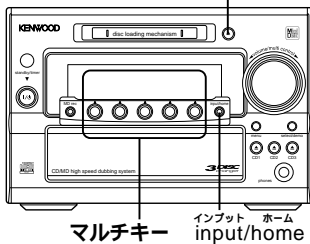
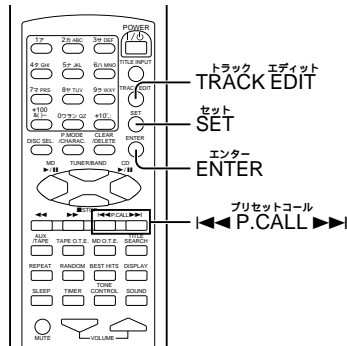
- 手順❻の前に、リモコンの**CLEAR/DELETE**（クリア/デリート）キーを押します。押すたびに選び出した曲の最後から順に取り消します。

曲をまとめて消すイメージ

1曲ずつ消す（ERASE）

選んだ1曲のみを消去することができます。消し終ると、その曲以降のトラック番号が1つずつ繰り上がります。

はリモコンを使った操作手順を示します。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。**
- **MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。**

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →73

1 消したい曲の再生または一時停止中にマルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す
- 手順**2**に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度**TRACK EDIT**キーを押します。

- MD編集モードで一時停止になります。

2 マルチキーERASEを押す

2 |◀◀ P.CALL ▶▶| キーを繰り返し押して"ERASE"を選ぶ

ERASE
005 ・・・・・・

3 マルチキーSETを押して"ERASE"を確定する

3 SETキーを押して"ERASE"を確定する

4 マルチキーENTERを押して消したい曲を確定する

4 ENTERキーを押して曲を確定する

ERASE
005 ERASE ok

5 マルチキーENTERを押して消去を確定する

5 ENTERキーを押して消去を確定する
- 編集終了後、下記の本体手順**6**も行ってください。

- 消去した次の曲のはじめで一時停止になります。
- **"EDIT NOW !"**表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、編集が中断されることがあります。

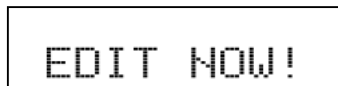
EDIT NOW!

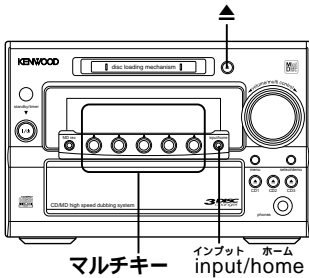
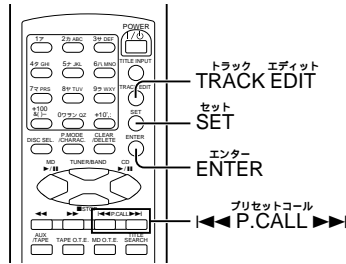
COMPLETE!!

6 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- **"MD WRITING"**表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

応用編

MD内の曲を全て消す (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。

はリモコンを使った操作手順を示します。

- マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。
- MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →73

1 MD停止中にマルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す

- 手順2に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度TRACK EDITキーを押します。

- MD編集モードになります。

2 マルチキーQUICK ERASEを押す

2 |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して"Q. ERASE"を選ぶ

3 SETキーを押して"Q. ERASE"を確定する

3 "ALL"表示中に、マルチキーSETを押して"ALL ERASE"を確定する

4 SETキーを押して"ALL ERASE"を確定する

4 マルチキーENTERを押して消去する

5 ENTERキーを押して消去する

- 編集終了後、下記の本体手順5も行ってください。

- **"EDIT NOW !"**表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、編集が中断されることがあります。

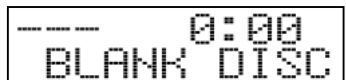
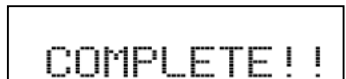
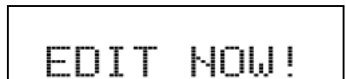
EDIT NOW!

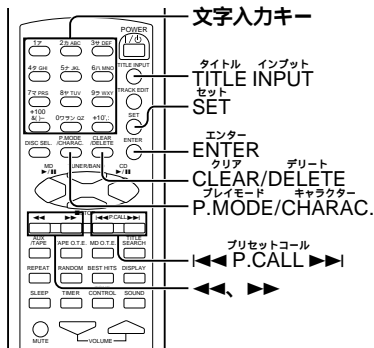
COMPLETE!!

5 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- **"MD WRITING"**表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

応用編

ミニディスクや曲にタイトルをつける （リモコンのみ）

ミニディスクや曲にタイトル（名まえ）をつけておくと、再生中にタイトルが表示されるだけでなく、タイトルサーチ（タイトルで曲を探す）が可能になります。
入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。
長時間録音（2倍または4倍）の設定でSTAMP機能**ON**を選んだ場合は、曲のタイトルの前に自動的に「**LP：**」が表示されます。

1 **ソースがMDのとき、TITLE INPUTキーを押す**

- ミニディスクのデータ読み出し、書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります

2 **|◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して、編集したいタイトルを選ぶ**

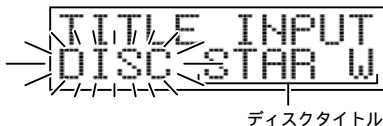
- |◀◀P.CALL▶▶|キーを押すたびに編集するタイトルが切り換わります。

① **"DISC"** ：**（ディスクタイトル）***1
② **"001"、"002"…** ：**（トラックタイトル）***2
③ **"ALL ERASE"** ：**（ディスクとトラックタイトルの全消去）** → 70
④ **"[123]"** ：**（タイトルメモ）***3 → 71

*1 停止中に手順**1**を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
*2 |◀◀P.CALL▶▶|キーを押すたびに**"001"**、**"002"**・・・とトラックタイトルが順番に表示され、全トラックの表示が終わると③、④と続きます。再生中に手順**1**を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。
*3 |◀◀P.CALL▶▶|キーを押すたびに選ばれたタイトルメモの数字が点滅し、次に①、②と続きます。

3 **SETキーを押して編集したいタイトルを確定する**

MD編集を途中で終了したいときは、リモコンのTITLE INPUTキーを押します。

ディスクタイトル（ディスク名）の場合

トラックタイトル（曲名）の場合

トラック番号　トラックタイトル

- ディスク、トラックともにタイトルをつけていないときは、**"....."**と表示されます。

次のページにつづく

4 タイトルを入力する

文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

文字入力キーで文字を選ぶとき("文字入力キーモード")

"Aa"、"12"、"ｱｧ" いずれかが表示されていないときは文字入力キーのいずれかを押します。

"文字入力キーモードの場合"

❶ P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して、文字グループを選ぶ

"文字入力キーモード"のときの文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ

A〜z、記号とタイトルメモ("[1]"、"[2]"、"[3]")

"12" グループ

0〜9と記号

"ｱｧ" グループ

アイウエオ…ガギグゲゴ…と記号

→ 69

❷ 文字入力キーを押して、文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。
(例：2カABCを押す)
押すたびにA→B→C→a→b→c と変わります。

- ◀◀、▶▶キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。
- 間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して消去します。

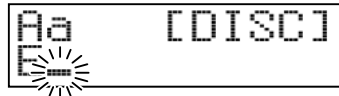
入力される場所(カーソル)

カーソルが移動、次の文字の入力待ち

❸ SETキーを押して、文字を確定(入力)する

- 他の文字入力キーや▶▶ キー、P.MODE/CHARAC.キーなどを押したときも確定されます。

❹ 手順❶〜❸を繰り返す

応用編

⏮P.CALL⏭キーで文字を選ぶとき ("スキップキーモード")

"Aa"、"12"、"ｱｧ" いずれかが表示されているときは⏮P.CALL⏭キーを押します。

❶ P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して、文字グループを選ぶ

"スキップキーモードの場合"

"スキップキーモード"のときの文字グループは以下の通りです。

アルファベットの大文字グループ

A～Zとスペース(1文字ぶんの空白)

アルファベットの小文字グループ

a～zとスペース

数字、記号グループ

0～9、スペースと記号

カタカナグループ

アイウエオ…ガギグゲゴ…

タイトルグループ →69

タイトルメモ("[123]")、ディスクタイトルとトラックタイトル

❷ ⏮P.CALL⏭キーを押して、文字またはタイトルを選ぶ

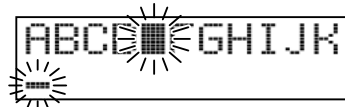
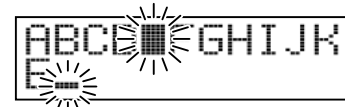
- 表示がスクロールして、同じグループ内のすべての文字を選ぶことができます。
- ◀◀または▶▶キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。

選択文字

入力される場所(カーソル)

カーソルが移動、次の文字の入力待ち

❸ SETキーを押して、文字を確定(入力)する

❹ 手順❶～❸を繰り返す

タイトルを消去、変更する

❶ ◀◀または▶▶キーを押して、カーソルを目的の(削除または変更する)文字に合わせる

- 文字を削除(手順❷)しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

❷ CLEAR/DELETEキーを押して、文字を削除する

❸ "④タイトルを入力する"の手順❶～❹を行う

次のページにつづく

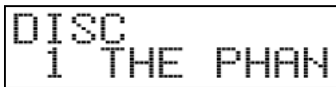
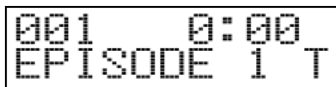
応用編

5 **ENTER（エンター）キーを押して入力したタイトルを確定する**

- タイトルをスクロール表示した後に、次のタイトルが選ばれた状態で手順**2**の表示に戻ります。
- タイトルを確定する前に、電源をオフ(スタンバイ)にしたり、**TITLE INPUT**（タイトル インプット）キーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。

6 **TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押して、編集を終了する**

7 **編集終了後、本体▲キーを押してミニディスクを取り出す**

DISC
STORE!!

⬅入力されたタイトルがスクロールします

手順6に進む前に手順2～5を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、各種記号などを選ぶことができます。

文字入力キーで文字を入力するとき（文字入力キーモード）

キー ＼ グループ	"Aa"	"12"	"ｱｧ"
1ア	スペース[1] [2] [3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc または abcABC	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef または defDEF	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi または ghiGHI	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl または jklJKL	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno または mnoMNO	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs または prsPRS	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv または tuvTUV	8	ヤユヨャュョ
9ラWXY	WXYwxy または wxyWXY	9	ラリルレロ
0ワヲンQZ	QZqz または qzQZ	0	ﾞ ﾟ ワヲン
+10’ , :	’ , : ? ! ; . ”_ ` $ スペース		
+100& ( ) ー	& ( ) ー / ＋ ＊ ＝ ＜ ＞ ＃ % @		

- "ﾞ" "ﾟ" "はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。

◀◀P.CALL（プリセットコール）▶▶キーで文字を選ぶとき（スキップキーモード）

アルファベットの大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ スペース
アルファベットの小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! ”# $ % & ’ ( ) ＊ ＋ , ー . / : ; ＜ ＝ ＞ ` ? @ スペース _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン スペース ーァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ スペース ー
タイトルグループ	[123] [DISC] [001] [002]•••

- "スキップキーモード"で文字を入力する場合、カタカナやアルファベット文字を入力するのと同じ要領で、タイトルメモや別のディスク/トラックタイトルを入力(コピー)することができます。 →71

タイトルを全て消去する

❶ ソースがMDのとき、TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す

❷ |◀◀ P.CALL ▶▶|（プリセットコール）キーを繰り返し押して"ALL ERASE"を選ぶ

❸ SET（セット）キーを押して"ALL ERASE"を確定する

❹ ENTER（エンター）キーを押して消去する

- ディスクタイトル、トラックタイトルとも全て消去されます。

❺ TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押して編集を終了する

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字､1曲につき最大80文字まで入力できます。（アルファベット､数字､記号の場合）
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字を削除（**CLEAR/DELETE**（クリアー/デリート）キーを押す）してください。

キー機能について

◀◀または▶▶キー：

カーソルの位置を移動します。

CLEAR / DELETE（クリア / デリート）キー：

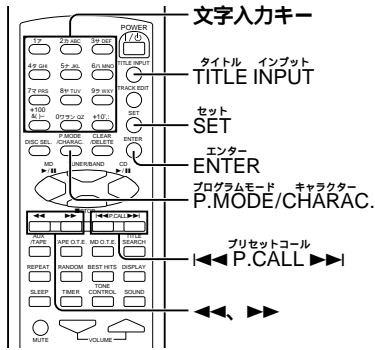
カーソルを合わせた文字が消去され、それ以降の文字が1文字づつ前に詰められます。続けて押す（または押したままにして繰り返し消去していく）と、簡単にタイトルを消去できます。

タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける(TITLE COPY)(TITLE MEMO)(リモコンのみ)

文字入力の手間を省くため、何回も使うようなディスクタイトル(ミニディスク名)、トラックタイトル(曲名)、入力文字をタイトルメモ(**"[1]"**～**"[3]"**)として保存し、別のディスクや、トラックにコピーして使うことができます。3つまでのタイトルや入力文字を保存することができます。

長時間録音(2倍または4倍)の設定で STAMP 機能**ON**を選んだ場合は、曲のタイトルの前に自動的に「**LP：**」が表示されます。

MD編集を途中で終了したいときは、リモコンのTITLE INPUTキーを押します。

ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)

1 MD停止中に、TITLE INPUTキーを押す

2 |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して、保存先のタイトルメモ("[1]"～"[3]")を選ぶ

3 SETキーを押して選んだタイトルメモを確定する

4 |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して、"スキッププキーモード"にする →69

5 P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して、既にタイトルが記録されているタイトルグループを選ぶ([123] [DISC] [001] [002] ...) →69

6 |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して、コピーするタイトルを選ぶ

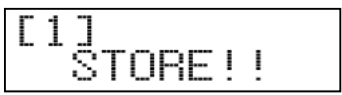
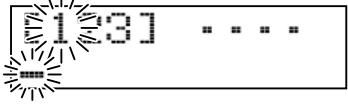
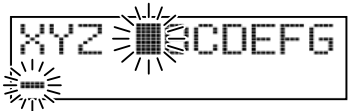
7 SETキーを押して、コピーするタイトルを確定する

8 ENTERキーを押して、保存先のタイトルメモに保存する

[1]
STORE!!

9 必要があれば手順2～8を繰り返し、別のタイトルメモにコピーを続ける

10 TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する

11 編集終了後、⏏キーを押してミニディスクを取り出す

タイトルメモに文字を入力する
(TITLE MEMO)

1 **MD停止中に、TITLE INPUTキーを押す**

2 **|◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して、保存先のタイトルメモ("[1]"〜"[3]")を選ぶ**

3 **SETキーを押して選んだタイトルメモを確定する**

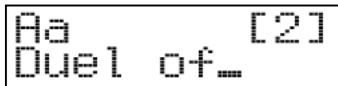
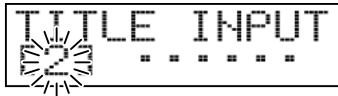
4 **"ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順4を行ない文字を入力する** →67

Aa [2]
Duel of_

5 **ENTERキーを押して、保存先のタイトルメモに保存する**

6 **文字の入力を続けるときは、手順2〜5を繰り返し、別のタイトルメモに文字入力を続ける**

7 **TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する**

8 **編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す**

タイトルメモの内容を他のディスク名、タイトル名にコピーする

"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"の手順で、選ぶ項目(コピー先とコピー元)を反対にすることでこの編集ができます。
下記の手順の操作のみ|◀◀P.CALL▶▶|で選ぶ項目を変更してください。

手順2 コピー先としてタイトルメモの代わりにディスクやトラックタイトルを選ぶ
手順6 コピーするタイトルメモ(**"[1]"〜"[3]"**)を選ぶ

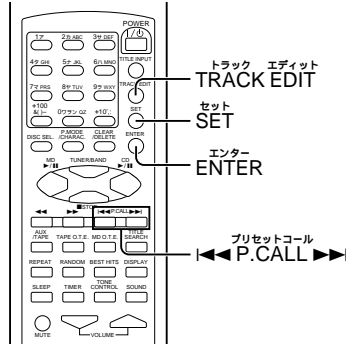
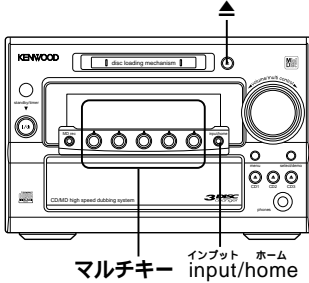
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →73

メモ

タイトルメモ自体を編集することができます。

- **"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"**の手順7の後に、手順4〜8を繰り返し、同じタイトルメモに追加のコピーを続けることができます。
- **"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"**の手順7の後に、◀◀または▶▶キーを押してから**"ミニディスクや曲にタイトルをつける"**の手順4で文字を入力する要領でコピーしたタイトルを編集することができます。

編集した内容を取り消す（EDIT CANCEL）

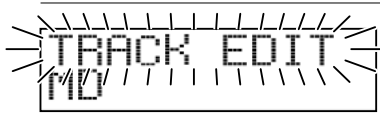
停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にミニディスクを取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。**
- **MD編集を途中で終了したいときは、input/homeキーまたはリモコンのTRACK EDITキーを押します。**

編集後、ミニディスクを取り出す前に行ってください。

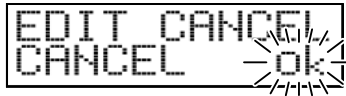
 はリモコンを使った操作手順を示します。

1 MD停止中にマルチキーTRACK EDITを押す

1 TRACK EDITキーを押す
- 手順**2**に進む前にMD編集モードが自動的に解除されたときは、再度**TRACK EDIT**キーを押します。

- MD編集モードになります。

2 マルチキーEDIT CANCELを押す

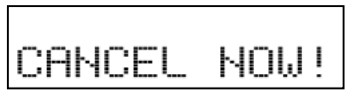
2 ◄◄P.CALL►►キーを繰り返し押して"EDIT CANCEL"を選ぶ

3 SETキーを押して"EDIT CANCEL"を確定する

- **"EDIT CANCEL"**が表示されない場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。

3 マルチキーENTERを押して編集を取り消す

4 ENTERキーを押して編集を取り消す

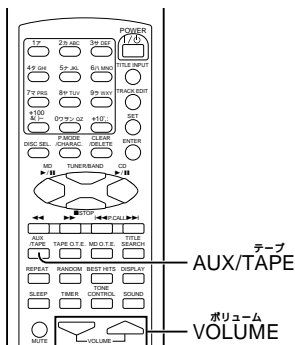
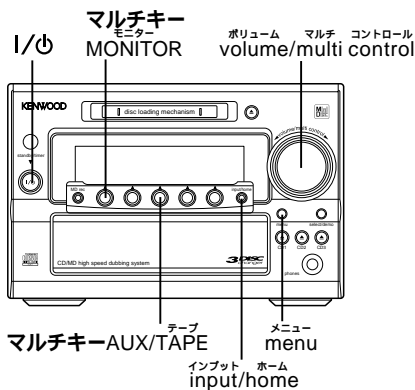
CANCEL NOW!

COMPLETE!!

4 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- **"CANCEL NOW!"**表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、編集取消が中断されることがあります。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

外部ソース機器を聴く

アナログまたは光デジタル出力を備えているCDプレーヤーやMDレコーダーあるいはカセットデッキなどを本機に接続して聴くことができます。

マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーRETURNを押します。

"カセットデッキ(X-SG7)との接続"→14 または"外部ソース(音源)機器との接続"→15 を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

はリモコンを使った操作手順を示します。

アナログ接続をした外部ソース機器を聴く

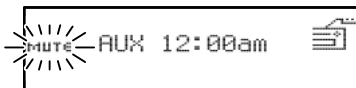
1 電源がオンのとき、input/homeキーを押す

2 マルチキーAUX/TAPEを押す

1 AUX/TAPEキーを押す

3 外部ソース機器の演奏をはじめる

4 volume/multi controlつまみを回して音量を調節する

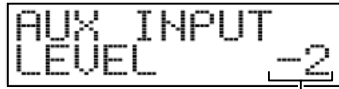
2 VOLUMEキーを押して音量を調節する

入力（インプット）レベルを調整する

接続したソース機器の音声出力レベルが、本機の入力レベルと合わない（音が大きすぎる、または小さすぎる）場合、調整することができます。

❶ **ソースがAUX/TAPEのとき、menuキーを押す**

❷ **マルチキーLEVEL▼またはLEVEL▲を押してお好みのレベル（"-5～+2"）に調節する**

❸ **menuキーを押して確定する**

- **マルチキーのキー配列をひとつ前に戻すには、マルチキーMENUを押します。**
- **メニューモードを解除するには、input/homeキーを押します。**

設定レベル

インプットレベルを調整すると、AUX（TAPE）入力端子に接続された外部ソース機器からの録音レベルも変化します。

デジタル接続をした外部ソース機器を聴く（MDのMONITORモード）

デジタルOPTICAL端子に接続した外部ソース機器を聴くときは、ソースをMDにします。

❶ **MD停止中に、マルチキーMONITORを押す***

* **"UNLOCK"**と**"DIGITAL AUX"**が交互に点滅する場合は、**"メッセージ表示の一覧"**の**"UNLOCK"**をご覧ください。 →88

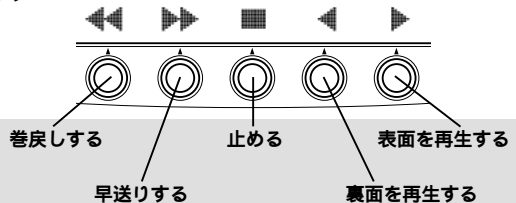
❷ **外部ソース機器の演奏をはじめる**

❸ **volume/multi controlつまみを回して音量を調節する**

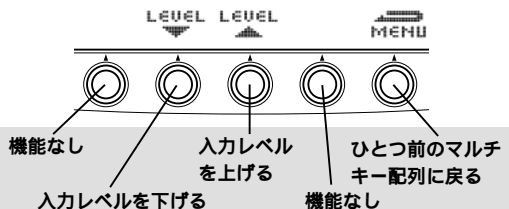
- **カセットデッキを接続した場合、お好みでマルチキーの表示を（AUX）から（TAPE）に切り換えることができます。ソースがAUX/TAPEのときinput/homeキーを2秒以上押します。元に戻すには、再度input/homeキーを2秒以上押します。**
- **MDのMONITORモードで外部ソース機器を聴いているとき、MDを出し入れすると音がとぎれます。MONITORモードの音を、本機に接続したカセットデッキに録音しているときは、MDを出し入れしないでください。**
- **MONITORモードを解除するには、マルチキーMDを押します。**

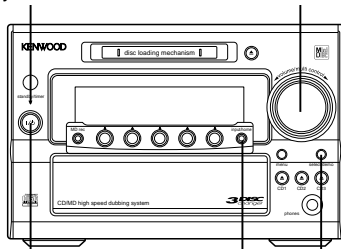
表示を（TAPE）に切り換えたときのマルチキーのキー配列

マルチキーの機能

巻戻しする / 早送りする / 止める / 裏面を再生する / 表面を再生する

menuキーを押した場合（メニューモード）

マルチキーの機能

機能なし / 入力レベルを下げる / 入力レベルを上げる / 機能なし / ひとつ前のマルチキー配列に戻る

時刻合わせ

時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

1 電源がオンのとき、select/demoキーを押して諸設定モードにする

2 volume/multi controlつまみを回して、"ADJUST ?"を選ぶ

3 select/demoキーを押して"ADJUST"を確定する

4 volume/multi controlつまみを回して"時"を合わせる

5 select/demoキーを押して"時"を確定する

● "分"表示が点滅します。

6 volume/multi controlつまみを回して、"分"を合わせる

7 select/demoキーを押して"分"を確定する

- **設定の途中で間違えたときは、input/homeキーを押した後、手順1からやり直してください。**
- **電源がオフ(スタンバイ)のとき、select/demoキー(リモコンSETキー)を押すと約5秒間時刻を表示します。**

午前8時45分に合わせる例

FM 80.00MHz
COMPLETE!

volume/multi controlつまみを回す方向は…

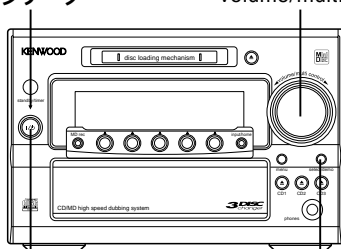
時刻が戻る　時刻が進む

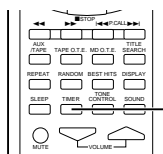
- 手順7で、時報と同時に**select/demo**キーを押すと正確な時刻設定ができます。
- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**standby/timer**インジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

応用編

タイマーを使う

CD、MDの再生、ラジオ受信、あるいはそれらの録音を、指定した時間帯に自動的に行うことができます。設定後1回だけ働くO.T.T.タイマー、おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になるSLEEP(スリープ)タイマー、設定を保存して毎日働く2つのPROG.(プログラム)タイマーがあります。

あらかじめ時刻合わせを済ませてから、タイマー設定を行ってください。 →76

簡単にタイマーを設定する (O.T.T.タイマー)

開始時刻をセットするだけの簡単な操作で、タイマー再生、受信ができます。電源をオフ(スタンバイ)にする前に、最後に選ばれていたソースが再生、受信されます。タイマー再生開始から1時間が経過すると、電源が自動的にオフ(スタンバイ) になります。O.T.T.タイマーは設定の後1回だけ働きます。

1 設定したいソースを選び、音量を調節する

2 select/demo(セレクト/デモ)キーを押して諸設定モードにする

- メニューモード中は、**menu**(メニュー)キーを押してメニューモードを解除してから**select/demo**(セレクト/デモ)キーを押します。

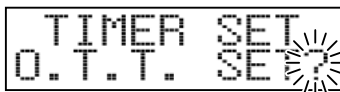
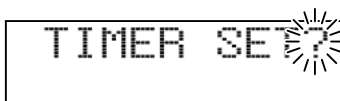
3 volume/multi control(ボリューム/マルチコントロール)つまみを回して、"TIMER SET?"を選ぶ

4 "?"が点滅している間にselect/demo(セレクト/デモ)キーを押す

5 volume/multi control(ボリューム/マルチコントロール)つまみを回して"O.T.T. SET?"を選ぶ

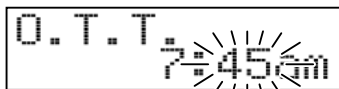
6 select/demo(セレクト/デモ)キーを押して"O.T.T. SET ?"を確定する

- 以前に設定したオン時刻が表示されます。(お買い上げ時は**"7:00am"**)
- 再生するソースを変更したいときは、手順1からやり直します。

応用編

7 **volume/multi controlつまみを回して、再生、受信をはじめたい時刻(オン時刻)を合わせる**
- オン時刻の表示は5分単位で切り換わります。

8 **select/demoキーを押してオン時刻を確定する**

9 **設定を予約する**
- リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、**"O.T.T."**を選びます。

10 **I/⏻キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする**
- **standby/timer**インジケーターが緑色に点灯します。

volume/multi controlつまみを回す方向は・・・

時刻が戻る　時刻が進む

タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

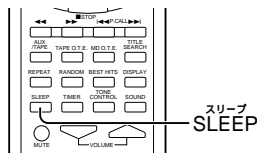
O.T.T.タイマーを解除するには

電源がオンのとき、リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、"O.T.T."を消灯させます。

音楽を聴きながら眠る (SLEEP タイマー)(リモコンのみ)

何分後に電源をオフ(スタンバイ)にするか設定します。

CD、MD再生またはラジオ受信中などに、SLEEPキーを押す
- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。
- **SLEEP**キーを1回押すたびに10分単位でタイマー時間表示と砂時計表示が変わります。最長で90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90
→消灯 → 10 → 20 .....

SLEEP タイマーを解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEPキーを繰り返し押してタイマー時間と砂時計表示を消灯させます。

本機は、スリープタイマーの動作中に表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)

- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**standby/timer**インジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

毎日働くタイマーを設定する (PROG.タイマー)

PROG.1、PROG.2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、オン、オフを切り換えることができます。

タイマー再生、受信

設定した時間帯に選んだソースを再生、受信します。

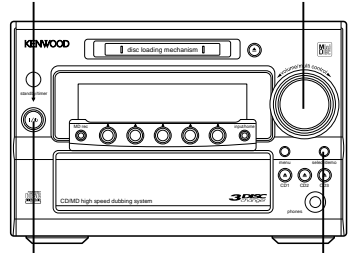
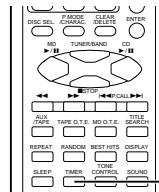
AI タイマー再生、受信

設定した時間帯にタイマー再生、受信をします。オン時刻になると徐々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。

タイマー録音

設定した時間帯にラジオ放送または外部入力ソースを録音します。

- タイマー予約は、PROG.1とPROG.2の2つを、同時に予約できます。
- PROG.1とPROG.2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

- **AUX(TAPE)入力端子またはデジタル入力OPTICAL端子に接続された機器の録音、再生の場合は"接続のしかた"を参照して、接続を済ませてください。** →15
- **あらかじめ時刻合わせを済ませてから、タイマー設定を行ってください。** →76

1 聴きたいまたは録音したいソースを選び、音量を設定する

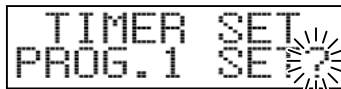
ラジオ放送を聴く	CDを聴く	外部入力ソースを聴く	MDを聴く	録音する
放送局をプリセットしておく →31 →32	ディスクを入れる(プログラム再生はできません) →24	AUX/TAPE端子またはデジタル入力OPTICAL端子に接続した機器のタイマー設定をする →75	ミニディスクを入れる →26	MDの録音準備をする →34

2 select/demoキーを押して諸設定モードにする

3 volume/multi controlつまみを回して、"TIMER SET?"を選ぶ

4 select/demoキーを押して"TIMER SET ?"を確定する

5 volume/multi controlつまみを回して、"PROG.1(または2) SET?"を選ぶ

6 select/demoキーを押して"PROG.1(または2) SET ?"を確定する

7 オン時刻を設定する

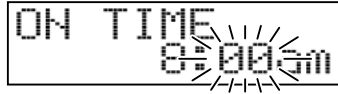
❶ volume/multi controlつまみを回して"時"を合わせる

❷ select/demoキーを押して"時"を確定する

● "分"表示が点滅します。

❸ 再度volume/multi controlつまみを回して、"分"を合わせる

❹ select/demoキーを押して"分"を確定する

ON TIME
8:00am

8 オフ時刻を設定する

❶ volume/multi controlつまみを回して"時"を合わせる

❷ select/demoキーを押して"時"を確定する

● "分"表示が点滅します。

❸ 再度volume/multi controlつまみを回して、"分"を合わせる

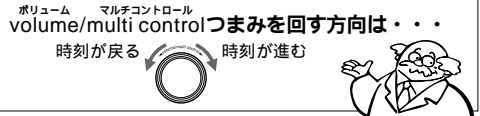
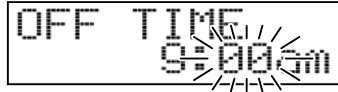
❹ select/demoキーを押して"分"を確定する

● 間違えたときは、input/homeキーを押してから手順❷からやり直します。

● 設定中は、設定中のタイマー番号が点滅します。

OFF TIME
9:00am

volume/multi controlつまみを回す方向は・・・

時刻が戻る　時刻が進む

9 希望のタイマー機能を設定する

タイマー再生、受信、AIタイマー再生、受信をするとき

❶ volume/multi controlつまみを回して、"PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ

- PLAY .... タイマー再生、受信
- REC
- AI PLAY ... 徐々に音が大きくなるタイマー再生、受信

❷ select/demoキーを押して"PLAY"または"AI PLAY"を確定する

● ソース表示が点滅します。

❸ volume/multi controlつまみを回して聴きたいソースを選ぶ("TUNER"以外を選んだときは手順❺に進む)

- ① TUNER............. ラジオ放送
- ② CD..................... CD
- ③ MD..................... MD
- ④ AUX/TAPE .... 外部入力ソース(アナログ)
- ⑤ DIGITAL AUX .... 外部入力ソース(デジタル)

❹ volume/multi controlつまみを回してプリセット番号を選ぶ(手順❸で"TUNER"を選んだときのみ)

❺ select/demoキーを押してソースを確定する

ラジオ放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき

❶ volume/multi controlつまみを回して、"REC"を選び、select/demoキーを押す

- PLAY
- REC .... タイマー録音
- AI PLAY

● ソース表示が点滅します。

❷ volume/multi controlつまみを回して、録音したいソースを選ぶ

- TUNER
- AUX/TAPE
- DIGITAL AUX

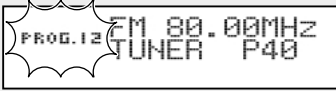
❸ select/demoキーを押してソースを確定する

❹ volume/multi controlつまみを回して、プリセット番号を選び、select/demoキーを押して確定する(手順❸で"TUNER"を選んだときのみ)

❺ volume/multi controlつまみを回して、お好みの録音モードを選び、select/demoキーを押すと"COMPLETE !"と表示して設定を終了します。

次のページにつづく

10 設定を予約する

- リモコンのTIMER(タイマー)キーを押して、**"PROG1"**、**"PROG2"**、または**"PROG12"**を選んでください。

11 I/⏻キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする

- **standby/timer**(スタンバイ/タイマー)インジケーターが緑色に点灯します。
- タイマー機能を使って再生しているときは、SLEEP(スリープ)タイマーは使用できません。
- 時刻合わせが済んでいないときは、タイマー機能は使用できません。
- オン時刻とオフ時刻に同じ時間を設定すると、タイマー機能は働きません。
- PROG.(プログラム)録音中は、スピーカーから音が出ません。スピーカーで聴きたいときは、**volume/multi control**(ボリューム/マルチ コントロール)つまみを回して(リモコンの**volume**(ボリューム)キーを押して)音量を調節してください。

タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

応用編

再び同じ内容のPROG.(プログラム)タイマーをセットする

リモコンのTIMER(タイマー)キーを押して"PROG.1"、"PROG.2"、または"PROG.1 2"を点灯させる

- PROG.(プログラム)の内容は、一番最後に設定したものが実行されます。
- CD、MDの準備、音量の調節をしておきます。

タイマーを働かせたくないときは

電源がオンのときに、リモコンのTIMER(タイマー)キーを繰り返し押して、"O.T.T."、"PROG."を消灯させます。PROG.(プログラム)の内容は再設定をしない限り保存されます。

- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**standby/timer**(スタンバイ/タイマー)インジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。
- プログラムタイマー録音終了後、**standby/timer**(スタンバイ/タイマー)インジケーターが緑色に点滅している場合は、録音ができていないことがあります。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	時計表示 N.B.
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	電源の状態(オンまたはスタンバイ)、A.P.S.、電源をオフにする直前のソース選択、AUXレベル、ボリュームレベル、バランスの設定、受信バンド、周波数、プリセット放送局、PROG.タイマーの設定内容、TONEの設定、REC LEVEL(録音レベル)の設定、REC MODE(チューナー録音モード)の設定

MD部

電源オフ(スタンバイ)あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約3日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ⏏CD1〜3キー、⏏キーを押して、CD、MDを全て取り出します。
2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

MD NO DISC

3. 数秒間待って、電源をオフ(スタンバイ)にします。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは本機で録音、編集を行わないでください。
MD-Clipデータ内容が失われることがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機で使用できるCDディスクについて

CD(12cm、8cm)、CD-G/CD-EG(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

ディスク取り扱い上のご注意

取り扱い

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

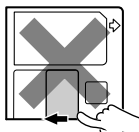
レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

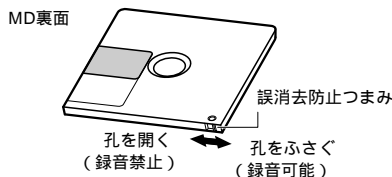
セットの中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDをセットから取り出してください。

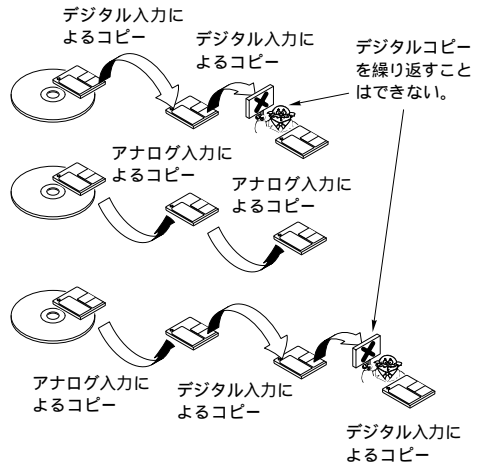
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

知識編

SCMS(Serial Copy Management System)について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

サンプリング周波数について

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

48 kHz:　DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
44.1 kHz:　DATの標準モード、CD、MD等。
32 kHz:　DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。
(DAT:Digital Audio Tapedeck)

本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、48kHz、32kHzのデジタル信号を44.1kHzに変換して録音できます。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話(03)5353-0336(代表)
FAX.(03)5353-0337

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには
電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、本体のselect/demoキーを押しながら、差し込み直す。

アンプ／チューナー／スピーカー部

症　状	原　因	処　置	参照
音が出ない。	● スピーカーコードが外れている。 ● 音量を最小にしている。 ● **MUTE**状態になっている。 ● ヘッドホンプラグが差込まれている。	● **"接続のしかた"**をみて正しく接続し直す。 ● 適当な音量にする。 ● **MUTE**を解除する。 ● ヘッドホンプラグを抜く。	→ 13 → 22 → 23 → 22
standby/timerインジケーターが赤く点滅し、音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。	● 一時 電源をオフ(スタンバイ)にして、ショートを取り除き、再度 電源をオンにする。	→ 13
standby/timerインジケーターが緑色に点滅する。	● タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたため時計設定が解除された。	● 時刻合わせをやり直す。	→ 76
ヘッドホンから音が出ない。	● 差し込みが不完全。	● 正しく差し込む。	→ 22
スピーカーの片側から音が出ない。	● スピーカーコードが外れている。 ● バランスの設定が片寄っている。	● **"接続のしかた"**を見て正しく接続し直す。 ● 左右のバランスを調整する。	→ 13 → 23
突然、電源が切れた。	● **A.P.S.**機能が働いた。	● **A.P.S.**機能を解除する。	→ 10
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 停電があった。 ● 電源プラグを一度抜いた。	● 時刻合わせを再度行う。 ● 時刻合わせを再度行う。	→ 76
タイマーが作動しない。	● 時刻合わせをしていない。停電があった。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻が同じである。 ● タイマーの予約をしていない。	● **"時刻合わせ"**を見て現在時刻を合わせる。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ● タイマーのオフ時刻をオン時刻より遅い時間に設定する。 ● **"⑩ 設定を予約する"**を見て**"PROG.1"**または**"PROG.2"**表示を点灯させる。	→ 76 → 80 → 80 → 81
放送局が受信できない。	● アンテナを接続していない。 ● 放送バンドが合っていない。 ● 受信したい放送局の周波数に合っていない。	● アンテナを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。	→ 12 → 30 → 30
雑音が入る。	● 自動車のイグニッションノイズ。 ● 電気器具の影響によるもの。 ● テレビが近くにある。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。	

アンプ／チューナー／スピーカー部

症　状	原　因	処　置	参照
プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。	● プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ● 長い間、電源コードを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ● もう一度プリセットする。	→ 31 → 32
突然、デモンストレーションが始まった。	● 電源プラグを抜いた、あるいは停電があった。	● 故障ではありません。**select/demo**(セレクト/デモ)キーを押して、解除してください。	→ 10

MD部（MD規格等の症状）

症　状	原　因
最大録音可能時間に達していなくても、"DISC FULL"(ディスク フル)が表示される。	● 最大録音可能時間に達していなくても、曲数が256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。） ● 曲中にエンファシス情報などの入切が多く行なわれると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係無く**"DISC FULL"**(ディスク フル)が表示されます。 このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は**" 0:00"**になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が、24秒（**MONO**(モノラル)、**LP2**）または48秒（**LP4**）未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、**" 0:00"**になります。消去された曲の合計時間が24秒（**MONO**(モノラル)、**LP2**）または48秒（**LP4**）を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 録音モードが違う曲は、つなげることはできません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	● 4秒間（**MONO**(モノラル)、**LP2**）または8秒間（**LP4**）を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
"READING"(リーディング)が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用ミニディスク（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間**"READING"**(リーディング)が表示されます。 ● 編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスクを入れた場合、通常よりも長い間**"READING"**(リーディング)が表示されます。
編集してできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソースによっては、トラック番号が正しくつかないことがあります。
アナログ長時間モードで録音されたディスクのとき、時間表示が不正確になる。	● アナログ長時間録音と通常のアナログ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MD部（その他の症状）

症　状	原　因	処　置	参照
マルチキー▶/IIを押しても音が出ない。	● ミニディスクが入っていない。 ● 未録音ディスクが入っている。	● ミニディスクを入れる。 ● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。	→ 26 → 26
録音ができない。	● ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ● AUX録音時の録音レベルが低い。 ● 再生専用ミニディスクが入っている。 ● 録音可能なエリアがない。 ● ソースがMDになっている。 ● 録音時間が短かすぎる。 ● メニューモードになっている。	● 書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り替える。 ● 録音形式を **"ANALOG"** に切り換えてから録音する。 ● 入力レベルを調整する。 ● 録音用ミニディスクを入れる。 ● ミニディスクを入れ替える。 ● 録音したいソースにする。 ● 1秒以上録音をする。 ● **input/home**（インプット/ホーム）キーを押してメニューモードを解除する。	→ 83 → 37 → 34 → 10
音がひずむ。	● 録音時に録音レベルの設定をしていない。 ● ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。	● 録音入力レベルを調節する。 ● 再度録音をする。	→ 37
雑音が大きい。	● 外部の雑音を誘導している。	● 電気器具、テレビなどから離す。	
録音したMDが他の機器（ATRAC 3（アトラック）に対応していない機器）で再生できない	● **LP2**、**LP4**で録音されている。	● **STEREO**（ステレオ）または**MONO**（モノラル）で録音する。	→ 35

CD部

症　状	原　因	処　置	参照
ディスクを入れても再生できない。	● ディスクが裏返しに入っている。 ● ディスクがずれている。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズに露がついている。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● ディスクを正しく入れ直す。 ● **"ディスク取り扱い上のご注意"** を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り替える。 ● **"結露にご注意"** を参照し露を蒸発させる。	→ 24 → 83 → 82
音が出ない。	● ディスクが入っていない。 ● 再生状態になっていない。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。	● ディスクを入れる。 ● ▶/II キーを押す。 ● **"ディスク取り扱い上のご注意"** を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り替える。	→ 24 → 83
音が飛ぶ。	● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 本機に振動が加わっている。	● **"ディスク取り扱い上のご注意"** を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り替える。 ● 振動のない場所に設置する。	→ 83

リモコン部

症　状	原　因	処　置	参照
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● ソースがCDまたはMDのとき、CDまたはMDが入っていない。 ● 録音中のMDを再生しようとしている。	● 新しい電池に入れ替える。 ● 操作範囲内で操作する。 ● CDまたはMDを入れる。 ● 録音が終わるまで待つ。	→ 19

MD部（メッセージ表示の一覧）

ディスプレイ表示	意　味	処　置	参照
NO DISC	● ミニディスクが入っていない。	● ミニディスクを入れる。	→ 26
SCMS	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	● デジタル録音はできません。 ● 録音形式を**"ANALOG"**に切り換えてから録音する。	→ 84 → 37
UNLOCK	● 角形光コネクターが外れている、あるいは接続が不完全である。 ● サンプリング周波数が38　kHz、44.1 kHz、48 kHz以外の外部ソース機器を接続している。	● 角形光コネクターを正しく接続する。 ● 本機に適合するサンプリング周波数の外部ソース機器を接続する。	→ 15
DISC FULL	● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。	● 録音用ミニディスクを入れ換える。 ● 1枚のディスクには256曲以上録音できません。	
FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	● **"入力できる文字数について"**を参照してください。	→ 70
BLANK DISC	● 何も録音されていないミニディスクです。	● 再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
READING	● TOC *1、UTOC *2情報を読んでいます。	● 故障ではありません。	
MD WRITING	● 編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。	
UTOC ERROR	● TOC *1、UTOC *2の内容が異常である。	● "**ALL ERASE**"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→ 65
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。 ● 録音、編集後ディスクを取り出して録音、編集情報を記録していない。	● 制限範囲内で編集する。 ● ▲キーを押してディスクを取り出す。	
okの点滅	● "編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	● **ENTER**キーを押すと、編集が実行されます。	
PROTECTED	● ミニディスクが録音禁止の状態(**PROTECT**)になっている。	● 録音可能状態(**PROTECT**を解除)にする。	→ 83
PLAY ONLY	● 再生専用ミニディスクである。	● 録音用ミニディスクをいれる。	
NOT AUDIO	● オーディオ信号でないデジタル信号が入力されている。	● 接続した外部ソース機器でオーディオデジタル信号を出力する。	
PLEASE WAIT	● CD倍速録音をはじめてから、74分以内に同じディスクを倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめる。	
CAN'T PLAY	● 未録音のミニディスクなど再生できないミニディスクを再生しようとしている。	● 再生できるミニディスクと交換する。	
LP: SET	● トラック番号の繰り上げに伴うタイトル入力処理中。	● LP：スタンプ機能をOFFにする。	

**＊1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。
TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。**

**＊2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。
このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。**

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書 （別途添付）

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代： 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　　)　　　　　-

定格

[本体部]

[アンプ部]
実用最大出力 .... 25W+25W（EIAJ 6Ω）
スーパーウーファープリアウト 1.8V/600Ω
入力感度/インピーダンス（インプットレベル"+2"）
AUX 200mV/47kΩ
出力レベル/インピーダンス
TAPE REC .... 200mV/2.2 kΩ
周波数特性
AUX .... 40Hz～40kHz、（+0dB、-3dB）

[チューナー部]
FMチューナー部
受信周波数範囲 .... 76MHz～90MHz
アンテナインピーダンス 75Ω不平衡

AMチューナー部
受信周波数範囲 .... 531kHz～1,629kHz

[MDレコーダー部]
読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC, ATRAC3
D/Aコンバーター 1Bit
ワウ・フラッター（EIAJ）.................... 測定限界以下

[CDプレーヤー部]
読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター 1Bit
サンプリング周波数 8fs (352.8kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20Hz～20kHz
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

[電源部・その他]
電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 55W
最大外形寸法 .... 幅 220mm
高さ 146mm
奥行 358mm
質量（重量）.. 5.7kg (正味)

[スピーカー部]

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー .... 110mm コーン型
ツイーター .... 25mm ドーム型
インピーダンス 6Ω
最大入力 30W
最大外形寸法 .... 幅 145mm
高さ 270mm
奥行 228mm
質量（重量）... 3.3kg（1本）

メモ

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。